

2019年 第48号
 とことん面倒見のよい学校
 中央カレッジグループ

学園新聞

学校法人有坂中央学園
 中央農業大学校
 中央情報経理専門学校
 中央医療歯科専門学校太田校
 群馬法科ビジネス専門学校
 中央高等専修学校
 学校法人中央総合学園
 中央情報大学校
 高崎ビューティモード専門学校
 中央医療歯科専門学校高崎校
 CRI 中央外語学院
 資格の学校 TAC群馬校
 中央グローバルビレッジ(前橋英語村)

中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 <http://www.chuo.ac.jp>
 〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL.027-253-1105(代) FAX.027-253-1124

群馬イノベーションアワード2018

大学生・専門学校生の部

部門最高賞に武さん

(CAG)

農業を楽しく「アグリウム」提案

若手起業家発掘を目指す「群馬イノベーションアワード2018」(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)の最終審査が平成30年12月1日、ヤマダグリーンドーム前橋で行われ、大学生・専門学校生の部(ビジネスプラン部門)で中央農業大学校の武彩伽さん(今春卒業)が、部門最高賞に入賞しました。

武さんは、農作物を水族館のような非日常空間で展示・栽培、販売するアミューズメントパーク「アグリウム」を提案し、高く評価されました。同部門には40件のプランの応募があり、2次審査で10件に絞られ、最終審査には武さんを含む3提案が残りました。中央農業大学校では、最終審査に

2年連続で進出、最高賞受賞は初めてのことです。受賞者には、GIA起業家と行く海外研修(上海)や各種セミナーへの優先参加権が与えられます。(関連10p)



部門最高賞に輝いた武さん
 授与者は金子正元・群馬県中小企業団体中央会会長(写真は上毛新聞社提供)

審査員賞に高橋さん

JT協賛のコンテスト リシンク・クリエイター・アワード

「新たな視点で地域を見直し情報発信を！」のテーマで全国のクリエイターが競うリシンク・クリエイティブ・コンテスト(JT協賛)で、中央工科大学校の高橋里菜さん(今春卒業)のポスター作品「群馬のこんにやく日本一」が、クリエイター賞(審査員特別賞・柳澤大輔賞)を受賞しました=写真。



授賞式(リシンク・クリエイター・アワード)は12月11日、東京のラフォーレミュージアム原宿で行われ、応募作品約400点の中から、高橋さんの作品を含む45点が表彰されました。審査員特別賞には賞金10万円が贈られました。

ぐんまプログラミングアワード 最終審査にCIDから2組

プログラミングを競う「ぐんまプログラミングアワード(GPA)2019」の最終審査(3月23日、群馬県民会館)に、中央情報大学校から、アプリ部門に1チーム、テクニカル部門に1チームが出場しました。(関連13p)

631人が希望胸に巣立ち



前橋会場での5校合同卒業式

▶式辞を述べる中島利郎代表



◀高崎会場での2校合同卒業式



太田で行われた中央医療歯科専門学校卒業式

8専門学校で 平成最後の卒業式

中央カレッジグループの8専門学校の平成30年度卒業式が、前橋、高崎、太田の3会場で行われ、知識や技術、資格を取得した合計631人が、新たな夢や希望を胸に巣立ちました。特に、今回は平成最後の卒業式となり、参加した学生、教職員、保護者、来賓の方々にとっても思い出深い式典となりました。

専門学校最初の卒業式は、3月6日に中央総合学園高崎2校(中央情報大学校、高崎ビューティモード)で行われました。会場となったピエント高崎には、2校卒業生200人と保護者、飯野真幸・高崎市教育長ら多くの来賓、内定企業関係者、教職員が集い、厳粛な式典に臨みました。

翌7日には、中央医療歯科専門学校太田校の卒業式が、マリエール太田で行われ、歯科衛生士を目指し3年間努力した46人に卒業証書が授与されました。引田正俊・太

田新田歯科医師会長ら来賓、保護者、教職員らが参列する中、厳しい家庭環境を克服した卒業生代表の答辞には、涙する人の姿も見られました。

前橋地区の5専門学校(中央情報経理、中央工科大学校、群馬法科ビジネス、中央農業大学校、中央動物看護)の合同卒業式が3月8日、前橋市民文化会館で行われました。卒業したのは5校合わせて385人で、国際化時代を反映し約40人の留学生も含まれています。

来賓には、曾我孝之・県商工会議所連合会長、小林馨・関東信越税理士会群馬県支部連合会長ら多くが出席、卒業生の前途を祝しました。

各会場で式辞に立った学園グループの中島利郎代表は、各校の取り組みを紹介、情報化時代における職業の在り方、今後の生き方などについて卒業生にアドバイスしました。

学校法人 有坂中央学園

CIA 中央情報経理専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

就職内定者インタビュー

中央情報経理専門学校から今春巣立った卒業生たち。夢の職業に内定し、新たな一歩に踏み出す先輩たちにインタビューしました。

新たな一歩踏み出す

医療福祉秘書学科

新たな環境に挑戦

内定先：
小泉重田小児科

福島 文菜さん
(渋川工業高校出身)



医療事務という職業を知る前は子どもが好きなので保育の仕事に興味がありました。医療事務の道に進むと決め、専門学校で楽しく勉強ができ、就職先が小児科に決まりました。子どもが好きなので働くことが楽しみです。学校での勉強は学生だから教えてもらえる安心感のなかで楽しく勉強できましたが、就職してからは保険証の知識など難しいことも自分自身で学んでいくので新しい環境に不安もあります。自分の仕事ばかりに集中しないで患者さんや周囲の職員の様子を見ながら仕事ができるようになりたいです。そういうことがみんなで仕事をする事だと思っています。

患者さんに信頼されたい

内定先：
横田マタニティーホスピタル

斉藤 伶奈さん
(利根商業高校出身)



専門学校で過ごした2年間はあっという間でした。1年生のときは分からないことは何でも先生、友達、実習先の職員に聞いて理解するようにしました。2年生になると実習を通して医療現場の雰囲気も学び、自分のできるようになっていきました。1年生の頃から就職に役立つと思い、病院の休日・夜間受付のアルバイトをしていたので患者さんの対応や電話対応は実践で身に付きました。産婦人科・小児科に就職したいと思っていたので、患者さんから頼られる医療事務員になりたいです。患者さんの気持ちに共感できること、子どもの目線に立って仕事をしていきたいです。

職場の理念に共感

内定先：
みよの台薬局グループ

星野 美菜さん
(尾瀬高校出身)



就職先は「地域に根付いたアットホームなところ」が良いと1年生の医療事務実習の経験から思うようになりました。病院やクリニックも地域に密着していますが、調剤薬局の存在は患者さまにより近く、みよの台薬局の理念や職員同士のつながりは私の理想そのものでした。専門学校を選ぶときも先生と学生の距離が近いところが魅力だったので本校を選びました。病院、クリニック、調剤薬局などさまざまな就職先がありますが、自分の好きなことに気づき、夢を叶えられる就職先に出会えたので患者さん一人一人に寄り添いながら仕事をしていきたいです。

情報経理学科

早くから就職対策を

内定先：
ヤマキ醸造株式会社

本多 翔世さん
(長野原高校出身)



1年次から就職活動を意識してボランティア活動、検定取得、学級委員を務めながら準備を進めてきました。実際に始めてみると最初は何をしたらいいのか分からず行動できずにいました。しかし、担任の先生から会社説明会に行ったら会社を知ることからスタートするようにアドバイスを受け実践。まずは自宅から通勤できる範囲で探しましたが、なかなか見つかりませんでした。その過程で、他県ですが条件の良い企業を見つけ訪問。行ってみるとアットホームな会社で、ここで仕事をしたいと強い思いを抱きました。就職活動で大変だったのが履歴書作成ですが、担任の先生にアドバイスをいただき妥協せず書けました。今回の経験を、就職しても生かしていきたいと考えています。

10チームが卒業研究発表 税から医療、観光まで

本校の平成30年度「卒業研究発表会」が2月25日、前橋市民文化会館小ホールで行われ、日ごろの学習成果をもとに各学科・クラスを代表し10チームが多彩な発表をしました=写真。

発表は、税理士会計・高度会計、情報経理、情報システム、医療福祉秘書、観光ビジネス、健康スポーツ、保育福祉の各学科順で行われ、その発表に対する質疑も出されました。

内容も「ふるさと納税」「ネットワークを利用したゲームの作成」「災害時の医療」「卒業旅行の企画運営から



学ぶホスピタリティ」「柔軟性とは」など多彩な内容でした。



創作劇に挑戦した3年生



会場を沸かせた舞台

創作劇「たろうとはなこの冒険」披露

保育福祉学科

保育福祉学科3年生は、卒業研究発表で創作劇、「たろうとはなこの冒険」を発表、会場を沸かせました。

劇制作にあたっては、3年間のさまざまな経験を振り返り、クラスという集団の中で各自が何をすべきか考え取り組みました。学生にとって劇を創り

上げることが大きな目標ですが、裏方をはじめ全員で制作に臨む姿勢そのものの大切さを意識しながら取り組むことも重要です。

その結果、本番の卒業研究発表会では全員が一丸となり、すばらしい発表にすることができました。数カ月におよぶ制作活動は、協調性を持ちながら精神的にも大きく成長し、結果だけで

職業像を明確にする

内定先：
株式会社 ホンダ
藤村 元哉さん
(前橋工業高校出身)



入学当初は、クラスメイトと打ち解けることができず苦労しました。その後、授業の一環で行われていたビジネスプランの講義を通じて自分の意見を出すことやグループ学習で他のメンバーの考えにも耳を傾けて取り組むことの大切さを学びました。

就職活動開始時には、業種・職種ともに迷っていましたが、会社訪問を重ねるうちに自分のやりたい職業像を明確にすることができました。

入社試験では、最初は戸惑うことが多く特に面接試験では、緊張のあまり何を言ったか覚えていないことも多くありました。しかし、経験を積むにつれて的確に答えることやハキハキ笑顔で答えることができるようになり、今回の結果につながりました。

なく、全員で創り上げる姿勢を学ぶことができました。

今年卒業となる3年生は、全員が子どもとかかわる仕事に内定しました。3年間で学んだ専門技術、そして人間関係を生かし、大きく羽ばたいてくれることを期待しています。

税理士試験 (科目試験)

簿記論、財務諸表論で合格者

第68回税理士科目試験(平成30年8月7・8日実施)で、本校税理士会計学科、高度会計学科から2科目3人の合格者を輩出しました。

合格した3人は今年4月から会計事務所での仕事が始まります。本校で学んだ知識・技能を生かし活躍することを期待し、来年以降も税理士試験にチャレンジしてもらい、よい知らせを待ちたいと思います。

【簿記論】(全国合格率14.8%)
高度会計学科経理専攻(税理士)コース2年

中沢 詩織(桐生商業高校)

和田 拓実(足利清風高校)

【財務諸表論】(全国合格率13.4%)

税理士会計学科税理士会計コース4年
小山 敦史(前橋商業高校)

高度会計学科経理専攻(税理士)コース2年
中沢 詩織(桐生商業高校)

診療情報管理士認定試験

16人が合格、本校合格率84.2%

第12回「診療情報管理士認定試験」(一般社団法人日本病院会開催、2月10日実施)の結果が3月22日に発表され、本校からは、診療情報管理士専攻コース(1年制)の16人(3月卒業生)が合格しました。合格率は84.2%。全国合格率は例年50%前後です。

医療分野でのICT化が加速する中、診療記録や診療情報を適切に管理する

診療情報管理士として、就職先の病院などで活躍していくことを期待しています。

多くが病院関係に就職

同専攻卒業生たちの就職先(正規採用)は、昭和大学、前橋赤十字病院、黒沢病院、佐藤病院など多くが病院関係への就職となりました。

【診療情報管理士合格者】

(カッコ内は出身校)

岩井もも子(藤岡中央高校)

金子 杏実(前橋育英高校)

金子穂乃花(樹徳高校)

金子みづき(高崎商業高校)

狩野 美幸(前橋西高校)

熊川 結衣(高崎商科大学附属高校)

小浦 碧(伊勢崎清明高校)

齋藤 夏美(学芸館高校)

関口 幸夏(伊勢崎清明高校)

遅塚 美穂(足利工業高校)

名和 瑞穂(明和県央高校)

服部 好香(前橋商業高校)

福田 琴音(前橋育英高校)

茂木 千尋(市立前橋高校)

柳町 大河(高崎商業高校)

吉田 理奈(足利短期大学附属高校)

労災事務管理士は全員合格

DPC初級は89.5%

本校では昨年11月24日に、初めて労災事務管理士技能認定試験とDPC/PDPS初級検定試験を受験、好成績を残しました。

労災事務管理士は昨年の3月に始まった新しい認定試験で、仕事上の病気・けが等に対して行った治療費の計算・請求方法を学ぶもの。DPCは大病院の入院費で取り入れられている計算方法で、傷病名と診療内容で医療費を決定します。DPC/PDPS初級は、その計算・請求方法が問われます。

労災事務管理士技能認定試験を医療福祉秘書学科2年生11人が受験し、全員が合格しました(合格率100%)、DPC/PDPS初級検定試験は診療情報管理士専攻19人が受験し、17人が合格、合格率89.5%でした。

両試験ともに初の挑戦でしたが、地道な学習の成果がこの結果に結びつきました。

24医療機関でインターンシップ 医療福祉秘書学科1年生が挑戦

医療福祉秘書学科1年生40人が、1月21日から2月1日まで、初のインターンシップを体験しました。

毎年、受け入れ協力していただいている前橋赤十字病院、黒沢病院に加え、伊勢崎市民病院、北関東循環器病院など、初めてお世話になる医療機関も含め24医療機関での実習となりました。

実習内容は、カルテ管理業務や、患者案内、受付から患者登録が主でしたが、実際の現場の業務に触れ、周囲のスタッフの仕事を見学することができたことは、貴重な経験となりました。また、自分に足りないものに気付かされ、新たな目標を設定することもできたようです。

4月からは、2年間で卒業するクラスと、診療情報管理士を目指し3年間学習するクラスに分かれます。学生たちは今回の医療機関での実習の後、どちらのクラスに進むか決定します。

ソースかつ丼PRでアプリ開発

観光ビジネス学科・情報システム学科及び情報経理学科の学生が、前橋市のご当地グルメ「ソースかつ丼」を紹介するアプリの開発を前橋市の観光振興課と連携して行いました。

学生がお薦めする市内の店舗とともに市内の観光ルート、店舗で利用できるクーポンを盛り込んだもので、昨年12月14日に本校の6階ホールで、学生がアプリの記者発表をしました。今回のアプリは、昨年観光ビジネス学科の学生が作成したソースかつTONマップをベースに開発。それぞれの店舗を擬人化したキャラクター=写真=を考

案し、世界観・服装・性格・口調など各店舗に出向き特徴を再現しました。

開発に携わった学生の野野翔さん(観光ビジネス学科)は「前橋市や店との連携を取るのに苦労した。アプリを見てソースかつ丼を食べたり、観光スポットに行ってほしい。このアプリが前橋市全体の観光を盛り上げる起爆剤の一つになれば」とコメントを寄せました。今年1月にAndroid版及びブラウザ版をリリースし、現在も運用中です。



審査員前に研究を披露 フィールドワーク発表会

学生たちが外部に出て調査研究した成果を披露するフィールドワーク全体発表会が3月4日、本部館6階ホールで行われ5学科のクラス代表が発表しました=写真。

発表テーマは、医療福祉秘書学科「ストレス」、高度会計学科「POP広告を用いた戦略について」、情報経理学科「期間限定と販売促進」、国際動物看護

学科「犬猫のご飯の種類と違いについて知ろう」、保育福祉学科「幼児の食と栄養」でした。

代表学生たちは、審査員の企業や学校関係者、在校生の前で緊張しながら模造紙を使って発表しました。来年就職を控えている学生たちに、審査員の方々から適切なアドバイスもいただくことができました。

審査委員による評価点で、最優秀賞には情報経理学科、優秀賞は国際動物看護学科が選ばれました。

学生たちからは「短い時間でしたが、チームワークで何とか発表までこぎつけられました。この経験を生かしたい」などの声が出ていました。

留学生インタビュー

国際ビジネス学科・日本語ITビジネスコース

NGUYEN THI THU HAさん

(グエン・ティ・トゥ・ハー)



努力し内定勝ち取る！ 将来の夢は会社経営

日本語能力を高めるなど努力し、名正運輸株式会社(愛知県)に内定した国際ビジネス学科・日本語ITビジネスコース2年のグエン・ティ・トゥ・ハーさんにインタビューをしました。

一会社での仕事内容は

ベトナムからの技能実習生とアルバイト留学生のシフト調整や送迎、通訳などの管理業務です。

一日本語能力を高めるために努力したことは

授業中に先生の説明はメモを取り、家では復習をしました。宿題だけでなく、自分で買った問題集でも勉強しました。その結果、日本語能力試験2級(N2)を取得することができました。

一将来の目標は何ですか

お金持ちになることです！お金があれば何でもできると思っています。シャネルのバッグが買えるようになったらいいな(笑)。留学して1年ほど経った頃から考えていることは、ベトナムで自分の会社を経営することです。日本へ留学を希望する人のサポートをしたいです。今の目標は、仕事が始まっても日本語の勉強を続けて、N1を取ることです。

一後輩へのアドバイスを

資格がないと日本語能力を証明できないので、就職活動を始める前にN2は取得しておくべきです。就職活動の準備は早めに！学校求人や説明会への参加、インターネットで探すなど積極的に活動しましょう。

〈インタビュー中、終始笑顔を見せてくれたハーさん、これからも、一層の活躍を期待しています〉

実習の成果を報告会で発表

本校では文科省委託事業である「専修学校版デュアル教育推進事業」(医療事務実習ガイドライン作成)に平成28年度から参加しています。本年度は、作成されたガイドラインに則り実習終

了後に「実習報告会」を学内で実施しました。

各医療機関で学んできたこと、注意した方がよい点など、今後実習に出る1年生へ向け、2年生や診療情報管理士専攻の先輩がアドバイスしました。

学校法人 中央総合学園 動物看護師統一認定機構コアカリキュラム導入校

CAN 中央動物看護専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目43-27 TEL. 027-253-7211 FAX. 027-289-4005 フリーダイヤル. 0120-15-1281

www.chuo.ac.jp



CIA 中央情報経理専門学校 国際動物看護学科

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

仲間と貴重な体験

中央動物看護専門学校(CAN)は、平成30年度の卒業生を今春送り出しました。学んだ知識や技術をもって社会に旅立つ卒業生代表2人に聞きました。

内定先：ふく動物病院(伊勢崎市)

青木 遥さん
(伊勢崎清明高校出身)

卒業生に聞く



青木遥さん(左)と阿久澤直花さん(右)

○学校生活での一番の思い出は

たくさん思い出があって、選ぶことが難しいですが、1つには国内研修旅行があります。1日目は、ディズニーシーに行きました。絶叫系が苦手な中で楽しめるのか不安でしたが、一緒に行動していた友達につられ乗ってみると、意外と大丈夫なことに気づき新たな自分の発見になりました。それに、ディズニーに詳しい友達のおかげで計画的に遊ぶことができ、充実した1日を過ごせました。2日目のズラシアでは、見学時間が少なくゆっくり観察をすることができなかったので、また、プライベートで行きたいと思いました。

○本校に入学して良かったと思ったことは

先生と学生の距離が近いことです。授業中に質問がしやすいですし、その他の時間でも趣味の話をしたり、飼っている猫の話をしたりして、身近な存在

になっています。

飼育管理では、少数飼育により大切に管理されているところも魅力的です。当番制なので、学業との両立も負担なくできます。アルバイトにも影響なくすることができました。

○後輩へメッセージ

コミュニケーションが苦手な学生でも、先生方が細かいところまで指導してくれるので、安心して学ぶことができます。勉強で分からないことがあっても、理解できるよう細かく教えてくれるのでとても助かりました。

就職もインターンシップをうまく活用することで、早期に内定がもらえます。テキパキと動き、スタッフの方とコミュニケーションをとるように心掛けるのが内定への近道です。頑張ってください。

内定先：はぎわらペットクリニック(前橋市)

阿久澤 直花さん
(吾妻高校出身)

○学校生活での一番の思い出は

国内研修旅行でみんなと過ごせたことが印象深いです。ディズニーシーに行く前から、友達とおそろいの服を準備したり楽しみでした。当日も、普段以上に会話も弾み、特に学校の授業の話で盛り上がりました。校外でも学校の話になってしまふほど、学校愛が強いんですね。2年間を振り返ると、他愛もない日常の学生生活の全てが思い出です。卒業してしまうことを考えると寂しくなります。

検定で全員合格相次ぐ

【愛玩動物飼養管理士2級】

愛玩動物飼養管理士2級試験(昨年11月25日実施)で、受験した国際動物看護学科1年生全員=写真=が合格しました。本試験は動物に関する法律やうさぎ・鳥などのエキゾチックアニマルに至るまで幅広く出題される試験です。動物看護師はもちろペットショップスタッフとして働く際にも役立つ資格のため、本学科では1年生全員が受験しています。同日には愛玩動物飼養管理士1級試験も行われ、希望受験者の2年生2人が合格しました。



【ペットフード・ペットマナー検定】

ペットフード・ペットマナー検定(11月7日実施)で、国際動物看護学科の2年生全員が合格しました。動物業界

では近年、飼い主側の意識が高まり、栄養やしつけに関する質問をされることが多くなりました。動物栄養学やペットとの適切な関わり方などを学べる本資格は現場でも役立つものです。

動物看護師セミナーに70人 学園本部ホールで開催

一般社団法人日本小動物獣医師会と同法人日本動物看護協会が共催する「動物看護師セミナー」が1月20日、学園本部6階ホールで開催されました=写真=。

セミナーには、近隣や近県で働く動物看護師の人たちや本校在校生など総勢70人が参加しました。

第1部では、動物看護職協会副会長の遊座晶子先生が「動物看護師の国家資格化に向けた取り組み」について講演。2018年12月の段階で、認定動物看護師の登録者が21,407人おり、この方々や今後認定される動物看護師の地



位向上のために動物看護師法の制定に向け活動していることが紹介されました。

また、「飼い主との良好なコミュニケーションのためにできること」について遊座先生は、動物看護師は飼い主とのコミュニケーションについて「聞く」ではなく「聴く」思いで行う必要性を強調。参加者は、相手目線でボディランゲージも使って会話の聞き上手になることなどを、参加者同士の交流を通じて体験しました。

第2部では、日本ヒルズの入交眞己先生が「恐れる動物にどう対処するか?犬猫のストレスケア」のテーマで講話。先生は、犬から見ると動物看護師はどう見えているのかに始まり、動物にできるだけストレスを与えない工

○本校に入学して良かったと思ったことは

イベントが多く、普段あまり話をしたことがなかった人とも仲良くなる良い切っ掛けとなりました。特に「かわせみ祭」では、クラスの仲も深まったと思います。自分たちで計画から実行までを体験することができ、大変さもありましたが、終わったあとの達成感は何にも代えがたいものとなりました。学習面では、コースが分かれていないため、動物看護以外の分野も学べる場所も良かったと思います。入学してから進路を考えることもでき、視野を広げることができました。

○後輩へメッセージ

とにかくイベントが多いので、学科関係なくいろんな人と仲良くなれます。学校行事やボランティア活動など積極的に参加し、全力で学校生活を楽しんでください。

中央動物看護専門学校の歴史を胸に、今まで築き上げてきた「動物の福祉」をさらに追求し、よりよい環境づくりに励んでください。

全員が就職内定

動物病院を中心に

本年度の中央動物看護専門学校の学生就職状況は、その専門性を生かし、2019年1月までに全員が内定しました。大半が動物病院やペットショップです。

内定先は以下の通り。

- いがらし動物病院・新南株式会社 埼玉工場・ふく動物病院・はぎわらペットクリニック・薮塚どうぶつ病院・みなかみ動物病院・くらがの動物病院・滝沢犬猫鳥の病院・みねぎし動物病院(2人)・田中動物病院・株式会社林牧場・ペットビレッジ前橋店・ワンラブ上田店・北軽井沢動物病院・桑原動物病院・アルバート動物病院

夫(「攻撃的な犬には極力触らない」など)が必要であることなど実例を交えて話してくれました。また、飼い主に見放された攻撃的な犬を保護し、飼育しながら矯正指導している様子も紹介。また、散歩中に、他の犬に興奮したり、攻撃したりする犬については、リードの持ち方や、おやつを使って対応することなどを具体的に説明していました。

参加者の中には本校第1期卒業生で、現在も動物看護師として働いている先輩の元気な姿もありました。

学校法人 有坂中央学園

CIT 中央工科デザイン専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL.027-255-3544(代) FAX.027-253-1124

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央工科デザイン専門学校

1438人の職業人を輩出

輝かしい歴史踏まえ高崎へ

中央工科デザイン専門学校（CIT）は、デザイン分野と電気通信分野に情報分野を加えて、専門学校「中央情報大学校」として、2018年4月、高崎で新たに生まれ変わりました。1998年に「中央工学院専門学校」として創立以

来、一貫して「ものづくり」を教育テーマとして「技術者養成」のための「実学実践」の教育活動に取り組んできました。本校で学んだ卒業生は、本年3月に卒業した20期生67人を加え、延べ1438人となりました。その歴史は、県

内外の各業界で活躍する多くの職業人を育成・輩出するものでした。

本校の教育テーマである「ものづくり」の精神は中央情報大学校に継承し、今後も技術者養成のための実学実践の教育活動に取り組んでまいります。

電気・通信・設備系 国家資格に 多数合格



国家資格を取得した学生たち

2019年2月までに国家試験の結果発表があり、多くの学生が国家資格を取得することができました。これらの資格は電気・通信・設備系業務に従事するために重要な資格です。学生たちの卒業後の活躍が期待されます。

【2018年度卒業生・主な国家資格合格】

- ▽経済産業省
 - 第三種電気主任技術者 1人
 - 第一種電気工事士 13人
 - 第二種電気工事士 20人
- ▽総務省
 - 工事担任者AI・DD総合種 2人
 - 工事担任者DD第1種 8人

- 工事担任者DD第3種 17人
- 消防設備士甲種第4類 3人
- ▽厚生労働省
 - 二級ボイラー技士 7人
- ▽国土交通省
 - 二級電気工事施工管理（学科） 13人
 - 二級管工事施工管理（学科） 3人

企業とのマッチング事業

キャットハウス デザインを開発

●プロダクトデザイン学科●

プロダクトデザイン学科では本年度も「群馬県内企業と教育機関のデザインマッチング事業」に取り組みました。同事業は、県、本校、企業が連携して実施するものです。

昨年の夏から株式会社ワークステーション（太田市）と共同研究を行い、新しい商品の企画・デザインに取り組んできました。



イオンモール高崎で、キャットハウスを展示

その成果の発表の場として、2月1日から3日にかけてイオンモール高崎でキャットハウス3点を展示しました。

学生たちは、来場者にデザインを進めてきた過程や、キャットハウスの使用方法、アピールポイントなどを説明しました。



▲卒業制作展告知のため桐生まちなかテレビ「わいわいワールド」に出演した学生たち

▼卒業制作展の会場

卒業制作展を開催

個性豊かな作品並ぶ

平成30年度卒業制作展が2月22日から27日まで高崎シティギャラリーで開催されました。

本年度のタイトルは「BLINK」。学生それぞれが多彩な個性を鮮やかに表現したいという強い思いが込められており、来場者は5日間で約500人にも達しました。

展示内容は、ライブペイント、特撮ヒーロームービー、ランプシェード、キャットハウス、電動立ち乗り

2輪車、多機能ラジオ、自転車発電機、マンガ、イラスト、アニメーション、ゲームなど多彩でした。

卒業制作委員の学生は「中央工科デザイン専門学校として最後の卒業制作展ですが、終わりではなく繋がっていくという思いも込めて悔いのない展示ができました。後輩たちにこの思いを引き継いでほしいです」と話していました。

中央工科デザイン専門学校の沿革

- 1998年4月 中央工学院専門学校（前橋市）創立。デジタル通信工学科、建築設備工学科の2学科でスタート
- 2005年12月 全国専門学校ロボット競技会にて優勝、文部科学大臣賞受賞
- 2006年4月 中央情報経理専門学校デジタルデザイン科と統合し「中央工科デザイン専門学校」に校名変更
- 2012年 有坂中央学園70周年記念事業として富岡製糸場ドキュメンタリー映画「はじめの始まりブリクとシマン」を製作。米国ヒューストン国際映画祭にてプラチナ賞受賞（部門最高位）
- 2014年 職業実践専門課程認定
- 2018年3月 ぐんまプログラミングアワードでMVP、総務大臣賞受賞
- 2018年4月 中央情報大学校としてスタート
- 2019年3月 中央工科デザイン専門学校第20期生を輩出し、中央情報大学校（高崎市）に完全移転



同窓会懇親会に参加した卒業生と教職員

同窓会懇親会に 150人参加

歴史は中央情報大学校に

中央工科デザイン専門学校（CIT）が高崎に完全移管し、中央情報大学校として新たに生まれ変わるのに際し、全卒業生を対象にした同窓会懇親会が2月9日、高崎市内のホテルで開かれました。

同窓会懇親会には、卒業生ら150人が参加、久々に会った恩師や仲間、先輩・後輩たちと近況報告や情報交換を行うなど、時間を忘れて笑顔で語り合う姿が、会場の随所で見られました。

本校同窓生は、今春の卒業生を含め1438人で、専門性を生かし企業・団体などで要職を担う人材も数多く生まれています。

同窓会は今後、中央情報大学校へと引き継がれ、その歴史は継続していきます。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所
CIS 中央医療歯科専門学校 太田校
 〒373-0026 群馬県太田市東本町41-12 TEL.0276-25-8833(代) FAX.0276-25-8841

www.chuo.ac.jp

CHUO
 中央カレッジグループ

歯科衛生士国家試験

45人が合格

努力と学習の成果

第28回「歯科衛生士国家試験」の結果が3月26日に発表され、本校学生は45人が見事合格を果たしました。この結果は、受験した学生の努力と学習の成果はもちろん、職員・講師の協力と支援が一体となって達成されたものです。歯科衛生士資格を取得した皆さんは、医院などの現場でその力を十分に発揮してもらいたいと思います。

試験は千葉県浦安市にある明海大学浦安キャンパスで行われました。本校学生は前日の結団式で教職員の激励を受け、その後バスで試験会場近くのホテルに移動、宿泊をして本番に臨みました。

本年度は昨年4月から放課後の国家試験対策や、解説ノートの作成など学生のフォローアップに努めてきました。11月に入ると非常勤講師による補

講が開始され、「熱の入った講義を一言も聞き漏らすまい」と学生たちは真剣に受講していました。成績が伸び悩む学生には職員がマンツーマンで夜遅くまで補習しました。

国家試験を前にした最後の2カ月は、学生たちの必ず合格を勝ち取りたいという思いに応えるべく、朝と放課後、土日、祝日も学校で補習を行いました。さらに非常勤講師の方たちにも



合格を喜ぶ学生たちと教職員

休日まで補講をしていただきました。友人同士で分からないところを教えあう場面も多く見られました。試験日が近づくにつれ、クラス内には「必ず全員で合格したい」という一体感が生まれました。

試験当日は落ち着いて強い気持ちで試験を受けることを意識させ、学生たちも「絶対大丈夫!」とお互いに励ま

し、国家試験を乗り越えました。

試験を終えたあとは、後輩に対して「学習時期や勉強方法について伝えたい」などの声も上がりました。

歯科衛生士という国家資格を手に入れた皆さんには、この経験を自信にかえ、社会人として成長して欲しいと思います。

がん治療と口腔ケアの重要性学ぶ 県立がんセンターから新垣先生招き学術講演会

各分野の専門家から学ぶ本校の学術講演会が、太田市ものづくりイノベーションセンターで行われました。今回は、群馬県立がんセンター歯科口腔外科部長の新垣理宜先生を講師に「がん治療を口から支える」という演題で講演していただきました=写真。

新垣先生は、歯科衛生士の卵である学生たちに、がんの患者さんに対する自身の取り組みなどを分かりやすく講義。その中で新垣先生は、「がん」と聞くと死んでしまう病氣、誰にも言えない、入院生活というイメージが強くあるが、「現在は、がんを慢性疾患ととらえ、前向きに治療と向き合い、できる限り家族と最期まで過ごす患者さんも多い」ことを紹介。

そこでは、口から食べることの重要性が高まっており、特にがん治療中は口の中に細菌などが溜まりやすく、さ



まざまなトラブルを引き起こしやすいと指摘、「歯科医師や歯科衛生士による口腔ケアが重要視されている」と話されました。

講義で使われたスライドには、普段はなかなか見られないがん患者さんの口腔内画像などもあり、学生たちは興味深そうに見入っていました。また、患者さんが来院されたときの対応や口腔清掃指導の留意点なども教えていただき、これから歯科衛生士として臨床現場で働く学生にとって多くの知識を得ることのできた講演会でした。



ついてさらに深く学びました。歯科衛生士は、ブラッシング指導だけではなく食生活指導なども行い患者さんの口腔内の健康を守ります。臨床現場でこの検定で学んだ和食の知識も生かし、多彩な指導を心掛けてほしいと思います。

和食アドバイザー検定2級 1年生全員が合格

本校の1年生が「和食アドバイザー検定2級」を11月30日に受験し、全員合格しました。

学生たちは、この検定を受験するにあたり、講義や調理実習に取り組みました。実習では、和食の基本である出汁の取り方を丁寧に教えていただき、和食の一汁三菜を作ったり、郷土料理としてすいとんも作りました=写真。

テキストを使用した講義で、和食に

合格者に聞く

3年間の学習や医院での実習を経て、見事国家試験に合格した学生2人にインタビューしました。

安里 愛与さん

(内定先: やまぎし 歯科医院)



信頼される歯科衛生士に

▽合格した感想

国家試験までとても不安で、何度も押しつぶされそうになりました。そのたびに先生方や友人が励ましてくれました。おかげで自信が付き、無事に合格できました。本当にうれしく、なにより励ましてくれた先生方、友人に感謝でいっぱいです。

▽私の勉強方法

私は勉強を始めるのが遅かったので、なるべく効率よく勉強するために携帯で過去問をたくさん解きました。問題集でやるより多くの問題を解くことができましたし、解説もその場で出てくるので、すぐに頭に問題が入りました。それでも分からないときは、さらに調べて知識を深めるようにしました。

▽学生生活の思い出

3年生の学園祭が一番の思い出です。私たちの班はタピオカを売っていたのですが、たくさんのお客さんに来ていただき、売上トップに輝きました。最後の学年で1位を取ったので特にうれしかったです。

▽どんな歯科衛生士になりたいか

技術が高いということも大事ですが、なにより患者さんに信頼される歯科衛生士になりたいです。患者さんの立場になってアドバイスができ、悩み事を相談しやすいような、『絶対にこの衛生士さんがいい!』と思われる歯科衛生士を目指します。

茂木 瑞希さん

(内定先: 飯塚歯科 医院)



さらなる知識高めたい

▽合格した感想

家族や友人、先生方の協力もあり、合格することができ、とてもうれしいです。4月から社会人として新たなスタートを切りますが、さらに知識を高め、歯科衛生士として成長していきたいです。

▽私の勉強方法

まず、机に勉強道具を広げ、座ることで、学習の習慣づけすることから始めました。そして、友達と問題を出し合う時間と、1人で集中して覚える時間を分けて勉強したことが私には合っていたと思います。分からないところは先生に聞いてそのままにしないようにしていました。

▽学生生活の思い出

戴帽式が特に思い出に残っています。式を迎え、これから臨床実習が始まると実感したときにとっても身の引き締まる思いがしました。

▽どんな歯科衛生士になりたいか

患者さんの気持ちに寄り添える歯科衛生士になりたいです。そのため技術はもちろん、人間としても成長できるように努力していきます。

学校法人 中央総合学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CMS 中央医療歯科専門学校高崎校

〒370-0843 高崎市双葉町2-8 TEL. 027-310-5088 FAX. 027-310-5622

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央医療歯科専門学校高崎校に学ぶ、在校生代表に、今の学習や学園生活についてインタビューしました。

在校生インタビュー

放課後も有効活用

1年生(新2年生)

生方 愛香さん

(群馬県立前橋西高校出身)

私はこの学校で1年間過ごしてみても、先生と生徒の距離が近く、勉強のことで日常生活のことで相談しやすい環境だと思いました。そして、女子だけのクラスなので打ち解けやすく過ごしやすいとも感じています。クラスメイトの前で発表したり、行事の時のまとめ役をしたり、高校では恥ずか



しくて苦手だったことにも挑戦できるようになりました。授業では大切なところをわかりやすく教えてもらい、テスト対策もしっかりとできます。木曜日以外は13:20までの授業となっているので、放課後の時間を有効に使い、復習やテスト勉強をすることもできます。模型を使つての歯石除去の実習も始まり、歯科衛生士という目標に向かって、充実した毎日を過ごしています。

実習で新たな経験

2年生(新3年生)

園部 礼佳さん

(長野県立岩村田高校出身)

私たちは、入学してから約2年が経ち昨年の10月からは、実際の臨床の現場で学習する臨床実習も始まりました。臨床実習では実際の患者さんへの治療の準備や見学などをさせてもらっています。学校の授業や教科書では学べない治療の流れ、アシストや患者さんへの対応、また、臨床現場の雰囲気



気を肌で感じる事ができ、とても貴重な勉強をさせていただいていると実感しています。まだまだわからないことや慣れないことも多くありますが、分からないことは必ず聞くこと、積極的に動く姿勢などもこの実習を通して大切であると感じました。実習で学んだことを身に付けて、また一年後に受験する国家試験に合格できるように努力をしていきたいと思っています。

日本医師会総合政策研究機構 和田主任研究員を講師に「予防医療と健康教育」

「予防医療と健康教育」をテーマにした学術講演会が1・2年生69人を対象に、12月4日にエテルナ高崎で行われました。

講演会は日本医師会総合政策研究機構主任研究員の和田勝行先生が担当しました。

和田先生は、学校保健の体系や法令上の位置づけ、子どもの食育、学校歯科医の取り組み、群馬県の取り組み、健康な食生活のために歯科衛生士が関わること、その重要性などを、幅広く、具体的に語り、受講した学生たちは熱心にメモを取るなど、新たな知識を取得しようとしていました。

学生コメント

講演から新たな発見が
南雲ほのか(2年生)

今回の講演を聞き、人間の一生と健康管理のほとんどに厚生労働省が関わっているのに対して、学校保健には文部科学省が関わっているということを知ることができました。もちろん、学校保健だけでなく、群馬県の取り組みについても聴くことができました。そこに共通するのは関係者の連携で、これは極めて重要だということにあらためて感じました。これから歯科衛生士となったときに取り組んでいくことについて

学術講演会



▲「予防医療と健康教育」をテーマに講演する和田先生



▲熱心にメモを取る学生たち

新入学予定者向けにビフォアスクール開催

2019年度入学予定者を対象にした事前説明「ビフォアスクール」が3月22日に開かれました。



入学予定者に対し開かれたビフォアスクール

当日は、「有意義な学校生活を送るために」として入学後の心構えや、学生生活の過ごし方について中村高広副校長が詳しく説明。

その後、学生証で使用する写真撮影や入学後に実習で必要な白衣やグローブ、シューズのサイズをはかりました。

入学後は、充実した学生生活を送り立派な歯科衛生士を目指してもらいたいと思います。

歯科衛生士養成へ期待 特別講師交流会開く

特別講師交流会が3月24日、本校で開かれ、18人の先生方が参加しました=写真。

交流会では、中央カレッジグループの中島利郎代表と大國勉学校長があいさつ。高崎市歯科医師会の黒田真右会長からは歯科衛生士の養成校として期待している旨のお話をいただきました。

今回の交流会の主たる目的である意見交換会では、講師の方たちから有意義な意見が多く出され、活発な意見交換ができました。



本校では、今後も講師の方と連携して、よりよい運営を目指していきます。

本校初の成人の祝い 責任と自覚を誓う

開校2年目の本校にとって初めての成人の祝い(中央総合学園3校合同)が、1月8日にエテルナ高崎で行われました。

式典では、本校を含む3校成人代表学生が、成人になるにあたっての心構



大國学校長から記念品を贈られる学生代表

えを誓いました。これを受け、大國勉学校長からは成人学生に記念品が贈られました。

当日は、記念講演の講師として中曽根康孝衆議院議員が登壇、「成人としての心構え」というテーマで、学生たちに語りかけました。

成人の祝いに参加した学生たちには、これを機に行動や発言に今以上に責任を持ち、有意義な学生生活を送ってもらいたいと思います。

学校法人 有坂中央学園

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811

www.chuo.ac.jp



2018年度 公務員試験

最終合格相次ぐ 難関職種も突破

2018年度（平成30年度）の公務員試験も大部分が終了しました。今回、本校からは総計で100人を超える最終合格者を輩出しました。その中には、採用枠が1人または2人という厳しい試験に合格を果たした学生もいます。本校の過去3年間での最終合格者数は400人以上にのぼっており、学生たちの努力が着実に成果を上げています。

群馬県の公務員試験で大健闘

本年度の実績で特筆すべき点は、地元群馬県の公務員試験における健闘ぶりです。桐生市消防本部の採用試験（高卒程度）では、本校から一挙に6人も

の学生が最終合格を果たしました。群馬県職員（高卒程度）では、学校事務、警察事務、行政事務のうち、すべての区分で最終合格を達成しました。

採用枠に限られた難関職種にも複数の合格者が出ています。桐生市役所（高

卒程度）試験では、最終合格枠はわずか2人でしたが、その2人がともに本校学生でした。群馬県警B特別試験（5月実施）の女性警察官の区分では、3年続けて、最終合格者の半数以上を本校学生が占めています。倍率や採用人数に臆することなく、学生が第一志望に向けて懸命に努力を重ねたことが、こうした実績に繋がったといえます。

本校学生の最終合格先は、ここまで挙げたもの以外にも、国家公務員一般職および税務職、千葉県職、特別区、東京消防庁、越谷市消防など、群馬県外も含めて多岐にわたっています。

過去3年間で400人以上の実績

本年度を含め、過去3年間での本校学生の最終合格者数は累計で400人以上にもなりました。さらに、県内に11カ所ある消防本部のうち10本部に、過去3年間最終合格者を輩出しており、合格先における先輩・後輩の繋がりもますます強固なものになっています。

これからの試験に臨む新入生や在校生の皆さんも、ぜひ、目標を高く持って、先輩たちの後に続くよう頑張ってくださいと思います。

卒業生に聞く 公務員試験に合格して

今春も多くの学生たちが本校を巣立っていきました。その一人一人が、公務員試験合格という目標のもと、粘り強く努力を続けてきました。その中から、見事合格を果たし、4月から公務員として働く卒業生に、最終合格までの道のりや抱負について聞きました。

内定先：富岡市役所

和田 大輝さん

（新島学園高校出身）



人々の暮らしを支えたい

Q. 公務員という仕事の魅力をどのように考えますか。

A. 趣味のフットサルを社会人になっても続けたいという思いがあり、オンオフの切り替えができる環境という点にも注目しました。それよりも景観保全や高齢者福祉、子育て支援などを通じて、人々の暮らしを根本から支える業務に魅力を感じました。

Q. なぜ、公務員の数ある職種の中から、富岡市職員を志望したのですか。

A. 私は、富岡市のジュニアサッカークラブのコーチを務めています。指導にあたっては、多くの市民の方々にお世話になってきました。その恩返しの気持ちをこめて、富岡市のために貢献したいと考えました。また、富岡製糸場を訪れようとしたとき、駅周辺の美しく整備された街並みが印象に残り、都市計画の業務に関心を持ちました。

Q. 試験に向けた勉強の中で、工夫した点はありますか。

A. 苦手な科目は勉強を諦めてしまうのではなく、その科目の中でも出やすい分野や理解できる分野に的を絞って勉強するようにしました。また、学校で受験していた模擬試験を活用しまし

た。出題された問題をその日のうちに復習するだけでなく、手持ちの問題集の中から類似した問題を解いてみることで、理解が深まったと感じています。

Q. 試験に向けて、これまで長期間、対策に取り組んできたと思いますが、モチベーションを保つにはどんなことが必要だと思えますか。

A. 自分が実際に働いているビジョンを持つことだと思います。合格して、公私の両方で充実した生活を送れている自分の姿を想像して頑張ってきました。また、実際に働く現場をイメージすることで、自分が備えておくべき心構えや情報が分かり、試験対策にも役立ちました。

Q. いよいよ入職するにあたって、今後、どんな市職員を目指したいですか。

A. 市職員は、市民の方々と直接関わられる仕事になるので、第一印象を大切に、明るく、親身に接していきたいです。また、相手の要望をきちんと把握できるよう、常に誠意を持って対話する姿勢を持ちたいです。

前橋市消防局と連携 1年生が実科訓練体験

本校は、文部科学大臣の認定を受けた「職業実践専門課程」の一環として、前橋市消防局の協力を得て、現役消防官による連携実習を毎年行っています。

本年度は、11月27日に警察官・消防士コース（2年制）の1年生が前橋市の中央消防署を訪問、実習を行いました。この取り組みは、学生たちが目指す消防士という職業について、どのような知識、技術、心構えが求められるのか、実際に見聞きをしながら学ぶものです。

実習当日は、消防士の業務概要や階級の説明に続いて中央消防署副署長から消防業務における心構えについて講義がありました。副署長は「近年の救助活動は広域化、高度化が進んでおり、あらゆる場面に対応すべく訓練を積ん



でいる。同時に火災の予防、災害が拡大しないための対策をいつも考えて業務にあたっている」と説明。学生たちは消防士の担う役割の重要性をあらためて感じとっていました。

昼食後は、実際の資器材を用いた実科訓練となり、学生たちは放水訓練、ロープ結索、降下訓練を体験しました。資器材の扱いや手足の運び方で苦戦する学生も見られましたが、隊員の丁寧な指導もあり、女子学生を含めて全員が一通りの訓練を終えることができました＝写真。

今回の実習を通じて学生たちは、消防士が、人々の安全を守るため、日々力を尽くして訓練や現場での活動に取り組んでいることを実感できました。

「中曽根康弘賞」論文 加藤海斗さんが佳作に

公益財団法人「青雲塾」が主催する第10回「中曽根康弘賞」論文に応募した、本校の加藤海斗さん（高崎高校出身）が佳作を受賞しました。



「中曽根康弘賞」論文の募集は、将来を担う青少年育成事業の一環として毎年行われており、今年合計162人の応募がありました。

加藤さんは「私の政策提言」をテーマとし、教育の無償化に向けた増

税の重要性について論じました。学校での勉強やアルバイトとの兼ね合いもあり、論文作成にける時間のやりくりで苦心したということですが、「多くの方々に評価していただくことができ、念入りに準備した甲斐がありました」と受賞の喜びを語っています。

加藤さんは、4月から群馬県の学校事務職員として働く予定です。「受賞式では、大手企業や大学で活躍することができ、大いに刺激を受けた。私も仕事だけでなく、行政書士などの資格取得も目標にして努力を続けたい」と決意を新たにしていました。

文科省、東京税関や警視庁など 現場見学や体験、説明受ける

● 1年生が国内研修旅行 ●

国家地方公務員初級コース(2年制)と、警察官・消防士コース(2年制)の1年生合同の国内研修旅行が12月10日、11日にかけて実施されました。

国内研修旅行は、普段の学校生活とは異なる環境の中で多くのことを体験し、学んでもらうことを目的に毎年実施されています。初日は東京ディズニーリゾートを訪問、2日目にはコースごとに分かれ、公務員の職場や訓練施設の見学を行いました。

2日目の見学先は各コースの志望職種と関連の深い場所となっています。今回、国家・地方公務員初級コースは文部科学省および東京税関を訪れ、警

察官・消防士コースは東京消防庁第2方面特別救助隊(ハイパーレスキュー)、東京臨海広域防災公園(有明)、警視庁本部をそれぞれ訪れました。

見学先では、税関で摘発した偽ブランド品の展示のほか、救助訓練施設の見学、現在の防災対策行政の説明など、数多くの体験をすることができました。また、現役の公務員とお話のできる貴重な時間ということもあり、業務の内容や魅力など、見聞きした情報を真剣にメモしていました。

今回旅行に参加した学生にとっては、クラスメートとの貴重な思い出をつくれただけでなく、訪問先での態度



文部科学省で説明を受ける



ハイパーレスキューの施設を見学

など、それぞれに学ぶ点があったようです。学生からは「事前にインターネットから得られる情報もあったが、実際に職場を見てみることで、業務内容

をよりはっきりと理解することができた」との感想があり、公務員について関心や理解を高めるきっかけとなりました。

高校生・大学生、社会人対象に 「公務員合格セミナー」始まる

新年度に向けて、12月22日から、「公務員合格セミナー」が開始となりました。この講座は、公務員試験の受験を考えている現役高校生や大学生、社会人を対象に、公務員試験についての情報提供や、重要出題科目の講義などを行い、合格を支援するものです。初回にあたる公務員試験の概要説明は前橋会場にて行われ、2回目以降の科目対策授業については前橋と桐生の2会場にて行われています。

講座への参加者は回を追うごとに増え、2月2日の対策授業には、ほぼ満席に近い参加がありました。公務員試



験独特の問題に初めて触れる参加者もいる様子でしたが、一人一人が要点をノートに書きとめるなど、熱心に勉強に取り組んでいました。また、授業後も自ら進んで講師に質問をしており、何としても合格を勝ち取ろうという強い意志が感じられました。

本校では、今後も各種講座などを通じて、公務員志望者に対する支援を進めていく予定です。

前橋税務署職員の方々に講師に迎えた特別講義「租税教室」が2年制コースの1年生を対象に、3月11日に行われました。

この講義は、暮らしの中で関わっている税の仕組みについて、税務署の業務内容を踏まえて学ぶもので、最初に、税務広報聴官の本嶋大介氏が、「身近な税」について講義。学生の将来とも関係が深い所得税の仕組みや、源泉徴収

身近な税の仕組み学ぶ 税務職員による租税教室

票の記載例等について解説、加えて国への納税は政治参加の1つであり、若い世代も税への関心を強く持つことが大切だと語りました。

後半は、2016年度に本校を卒業し、現在は法人課税部門に勤務する大塚菜結さんが担当。これまで新入職員として担当してきた業務内容、休日の取り方や過ごし方まで丁寧に説明してくれました。

4種目で熱戦

スポーツ大会

本校の恒例行事であるスポーツ大会が2月4日、前橋市の大胡体育館で開催されました。この大会は、総合優勝をかけて、クラス対抗でさまざまな競技を行うもので、今回はバレーボール、バスケットボール、フットサル、バドミントンの4種目を実施しました=写真



する者もいました。また、未経験の学生も含めて、互いに声を掛け合いながら連携を取る場面もあり、いずれの試合も白熱した展開となりました。

午前・午後にわたる熱戦の結果、警察官・消防士コース(2年制)2年次(湯浅クラス)が3種目を制覇し、総合優勝。林康宏学校長より、クラス代表へと優勝カップが授与されました。

官公庁に調査訪問も

フィールドワーク発表会

本校の2年制コース1年生クラスでは、進級を迎える前に、1年次の締めくくりとなるフィールドワーク発表会を毎年実施しています。今年は3月7日に開催されました。

フィールドワークは、公務員のさまざまな職種について、学生たちが班ごとにテーマを定めて職業研究を行い、その成果をクラスメート・教職員の前で発表するものです。

発表データを集めるため官公庁への訪問も行い、訪問先へのアポイントメントの取得も含めて、全て学生たち自身が主体となって進めます。これにより、計画性やプレゼン能力を養うほか、発表を通じて公務員に関する知識を深め、共有することを目的としています。

今回は、合計14班に分かれて研究を行いました。研究テーマについては、漠然としたものではなく、警察についてならば少年犯罪防止のための取り組みを重点的に調べたり、市町村役場についてならば複数の自治体で業務内容を比較したりと、より具体的にする工



協力して、研究のまとめ作業を行う学生たち

夫が見受けられました。官公庁への訪問の段階では、当初訪問を予定していた部署のアポイントメントが取れず、調整に苦労した班もありましたが、各自ビジネスマナーに留意しつつ、施設見学や職員への聞き取り調査を行いました。

発表会当日は、パワーポイントにまとめた調査内容を、各班15分の持ち時間の中で発表しました。いずれの班も、入念なりハースルの甲斐があり、図表を活用しながら分かりやすく発表を行うことができました。一方、質疑応答では、調査の不足している部分についての指摘も挙げられました。

調査に当たり、学生訪問に協力いただいた訪問先各職場の皆様には、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

新任紹介

奥土居 尚先生
(地理担当)



“地理学は諸学の基なり”

2018年度末に、地理担当教員として奥土居尚先生が着任しました。奥土居先生は、大学の教育学部で小学校、中学校、高等学校の教員免許をそれぞれ取得。卒業後は、大学時代にアルバイトをしていた学習塾に就

職し、これまでも、学生たちに対して熱心に指導を行って来ました。

趣味は料理で、朝食とお昼のお弁当は毎日必ず自分で作るそうです。昨年、その趣味が高じて「食の検定」「和食アドバイザー検定」「農業検定」の資格取得にも至りました。

本校では主に地理を指導しています。内村鑑三の「地理学は諸学の基なり」という言葉を紹介したうえで、「地理は公務員試験に出題されるといっただけではなく、自分たちの普段の生活にも関わる大事な科目です。楽しく勉強していきましょう」と語ってくれました。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CAG 中央農業大学校

〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

農業とともに、笑顔の花咲かせたい

「群馬イノベーションアワード2018」大学生・専門学校生の部でファイナルステージに進出、見事に同部門最高賞の入賞に輝いた武彩伽さんに、受賞後にインタビューしました。

GIA2018を振り返って

武 彩伽さん

就職内定先：有限会社オーエムシー

農業経営学科農業ICTコース今春卒業

(都立雪谷高校出身、各地で農業体験。その後本校入学)

▽受賞した現在の気持ちは

受賞できたことに今でも実感がわきません。先輩も出場した前回の、GIAファイナルステージを目の当たりにして、私もこのステージに立ってみたい。入賞したら海外視察へ行ける。自分の目で見て、もっともっと知らない農業の世界を広げたい。という夢を描きました。大好きな農業への思いを伝えるチャンスを得たこのGIAで私の思いが通じ、審査員の方々に評価していただき、夢が現実になったことがとてもうれしかった。

▽このプラン（アグリウム）を思い付いたきっかけは

大好きな農業を水族館のような癒される非日常的空間で、展示栽培したら面白いのではないかと考え、そこで思

いついたプランが、アグリカルチャー（農業）×アクアリウム（水族館）＝アグリウムです。

農業ってカッコいい、楽しい。大好きな農業の魅力を若い世代へ発信するとともに、一日中過ごせるアミューズメントパークにすることで、地域活性化につながる。今までにない農業の体験型複合施設があったら、楽しそう。と思ったからです。

▽ファイナルステージに立った感想

名前が呼ばれ夢の舞台へ歩き出した後の記憶が一切ありません。頭が真っ白とはこういうことなのかと実感しました。たくさんの拍手をいただいたこの経験ができたこと。本気で自分自身と向き合えたこと。大好きな農業が、私をステージに立たせてくれたこと。



ファイナルステージでプレゼンテーションする武さん

精いっぱい努力し、無我夢中になった日々は、一生忘れられない宝物になりました。

▽本番までの道のり

二次審査を経てファイナルステージ進出決定後、自分が納得するまでスライドを作り込み、原稿を考え、3分間のプレゼンに思いを込めて発表練習をしました。その際、多くの方が私のサポートをしてくださいました。激励の声が掛けてくれる友達、先生。その声援が行き詰まった時にも、くじけそうになった時にも、背中を押してくれました。おかげさまで、一人では到底たどり着けなかった場所で、貴重な経験ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

▽これからの夢

今回、夢が夢のまま終わらず、実現できたことが自信につながりました。



受賞後の交流会で感謝と決意を語る

た。農業の世界と出合って5年が経ちました。これからも人とのつながりを大切に、感謝の気持ちを忘れずに、畑からみなさんへ笑顔と、農業の魅力を発信したい、これからも、わくわくする道へ挑戦していきたいと思います。大好きな農業とともに、100歳まで笑顔の花を咲かせ続けるのが夢です。

栽培から加工、販売などテーマに 19チームが卒業研究発表

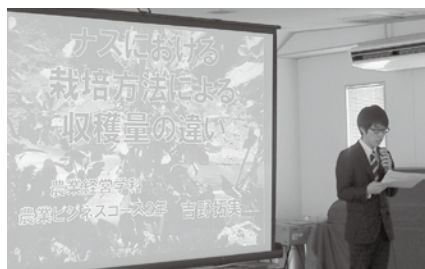
2年間の学習の成果を披露する「卒業研究発表会」が、2月14日に行われ、農・花・食の各学科コース専攻から19チームがそれぞれの研究を在校生・教職員の前で発表しました。

各班の発表テーマは、農業分野では有機栽培と慣行栽培における比較研究や音楽を活用した栽培、フラワー分野ではエディブルフラワーや綿の加工、食の分野では商品開発や村おこしなど

でした。学生たちは、自ら立てたテーマに対し“やって・みて・考える、失敗から学ぶ”を实践、失敗と成功を繰り返しながら卒業研究に取り組みました。

当日の発表態度も堂々とし、入学時と比べ格段に成長した学生の姿を目にすることができました。

発表会では、聴講した1年生や教職員から、内容についての質問やさらな



研究成果を発表する学生

る掘り下げた研究を求める意見など熱心な質疑応答が交わされました。

1年生の中には先輩の研究を引き継ぎたいと目を輝かせる学生も見られるなど、充実した卒業研究発表会となりました。

平成30年度卒業生 主な就職先

(順不同)

専門知識に高い評価

- ファームドゥホールディングス株式会社
- 有限会社野口ナーセリー
- 株式会社モリタネ
- 北埼玉菌茸センター
- 有限会社宮城種豚センター
- 丸合青果株式会社
- 有限会社三輪農園
- 株式会社ぐんたね
- 株式会社ティーワイプランニング
- N-FLOWER
- 中之条ガーデンズ
- 田口園芸株式会社
- 株式会社コメリ
- 株式会社ニューガーデン
- 株式会社OPENER
- 有限会社オーエムシー
- JA東日本くみあい飼料株式会社
- 株式会社内野農場
- 合同会社ゆーぱる上野
- 日本レストランシステム
- 株式会社上野振興公社

新たな取り組み

文部科学省委託事業「農業分野のスマートワークを推進・実現する人材育成プログラム開発事業」に関する第1回実施委員会が12月14日、前橋市内で開催されました。

本事業は平成30年度文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」に本校が応募し、採

択されたものです。

実施委員会には、農業、情報、教育、官庁など、産官学合計22機関が

「農業分野のスマートワークを推進・実現する人材育成プログラム」 文科省事業に採択、実施委員会開く

名を連ね、専門性の高い活発な議論が行われました。

事業では、Society 5.0時代の農業に求められる知識・技術・技能（栽

培管理、ICT化、データ活用等）を身につけるカリキュラムを開発していきます。初年度は「ICT概論」、「ドローン基礎」の2科目を、その後の2カ年度までに合計11科目のカリキュラムを完成させ、それらはインターネットを通じたeラーニングにも公開されます。

新年度はその実証講座が本格化していく予定です。

優秀賞に土屋さんの作品

群馬県きのご料理コンクール

第19回「群馬県きのご料理コンクール」(主催:群馬県、事業実施委託:群馬県特用林産振興会)で、本校食農調理師学科2年生の土屋拓己さん(玉村高校出身)の作品「クリーム風キノコのクロックムッシュ」が優秀賞に輝きました=写真。

同コンクールには、396作品の応募があり、その中から1次審査を通過した12人の作品を対象に2次審査が行われました。

土屋さんの作品は、味・作りやすさ・衛生面などの点から審査され、優秀賞をいただくことができました。

【クリーム風キノコのクロックムッシュのポイント】

3種のキノコ(えのき茸・しめじ・エリンギ)を使ったクロックムッシュです。キノコはよく煮て、柔らかくし、



パンの表面をこんがり焼くことで、「外はカリッと中はトロッと」という食感が楽しめるように工夫をしました。



都内の群馬アンテナショップで「すき焼き焼まんじゅう」を販売する学生と教職員

「すき焼き焼まんじゅう」PR 東京のぐんまちゃん家で販売

「牛肉使った群馬の美味しい焼きまんじゅうはいかが!」。

本校は、東京の群馬県アンテナショップ『ぐんまちゃん家』と連携し、本校学生が考案して商品化された「すき焼き焼まんじゅう」を2018年11月29日に、都内で初めて販売しました。

販売した「すき焼き焼まんじゅう」は、群馬県産の牛肉『上州牛』や白菜、ネギなどまんじゅうの具材として使用し、焼きまんじゅうのように甘辛い味

噌だれを塗って焼いたもの。

販売当日は学生が店頭で立って、来店客に群馬の食材にこだわって作ったことなどを説明、用意した25個は好評のうちに完売しました。学生たちは、地方の名産品がしのぎを削る激戦区の都内で、群馬の名産を売り込めたことを肌で実感していました。

GGCとハンバーグで連携

1月限定メニュー開発

食農調理師学科2年生がステーキレストランのGGCと連携、1月の月替わり限定ハンバーグメニュー=写真=を開発。高崎本店、HappyBurg高崎中泉店・高崎倉賀野店の3店舗でそれぞれ販売しました。



GGCとの連携では、夏と冬の2回にわたり商品開発をしました。この経験を生かし、卒業後もそれぞれの職場

で新たな商品開発に携わってほしいと願っています。

「はたちの干し芋」1000袋を完売

6次産業化実践商品の一つとして、本校で生産・加工・販売に取り組む「はたちの干し芋」作りを本年度も行いました。

昨年度まではさまざまな品種を試しましたが、今回は最も食味・色合いに優れた「紅はるか」に絞り、農業経営学科1年生を中心に箕郷農場・宮城農場で入念な獣害対策や、猛暑の中での除草作業等栽培に励みました。

11月の収穫後、甘みを増す為の貯蔵を経て12月に加工したおよそ1000袋の干し芋は県内の食の駅、道の駅、旅館等で販売。いずれも大人気で数日のうちに売り切れとなりました。

最優秀に前工の青木さん

第5回お弁当コンテスト

地産地消テーマに267点応募

「地産地消」をテーマにした第5回お弁当コンテスト(中央農業大学校主催)が行われました。応募総数267点の中から、青木依舞さん(前橋工業高校)の「群馬の野菜! いいとこ鶏弁当! ~食材たち! お昼だよ! 全員集合! ~」が最優秀賞に輝いたほか、各賞が決まりました。

同コンテストは、地域の農産物資源を有効活用し、安全で健康的な「お弁当」を、高校生や大学生・専門学校生などから募集するもので、今回で5回目の開催。

一次、二次審査を経て選ばれる上位のお弁当は、年々レベルが上がり、地域食材を上手に使用し、工夫された素晴らしい内容で、審査員も毎回、選考に迷うほどでした。

コンテストをきっかけに、地域食材や調理などに、より一層興味を持ってもらえるよう、本校では来年度もコンテストを企画する予定です。

【お弁当コンテスト主な受賞作品】

▽最優秀賞 「群馬の野菜! いいとこ鶏弁当! ~食材たち! お昼だよ! 全員集合! ~」

青木 依舞
(前橋工業高校)



最優秀賞の青木さん作品

▽上毛新聞社賞 「夏のスタミナビタミン弁当」



お弁当コンテスト入賞者

▽審査員特別賞 「秋の旬の食材を使った彩り豊かな炊き込みご飯弁当」

小林 里桜 (勢多農林高校)

▽優秀賞 4点

「Never Never Landで粘り勝ち!」

池田 遥香 (前橋工業高校)

「だるまもよろこぶ! 彩りにぎわい弁当」

丹羽 花恋 (前橋工業高校)

「八ッ場ダムのたまたま箱~紅葉と秋の味覚を詰めて~」

永井 崇史 (前橋工業高校)

「群馬の馬い(うまい)黄色の機織弁当」

横室 美咲 (渋川女子高校)

▽優良賞 12点

柳澤溪斗(新田暁高校)、菅谷怜奈(伊勢崎興陽高校)、吉村空(榛名高校)、中山裕基(桐生工業高校)、五十嵐千晶(勢多農林高校)、川田樹良(伊勢崎商業高校)、高田蝶妃(伊勢崎興陽高校)、金子奈史(榛名高校)、垣田誉志史(一般)、小野ひかり(利根商業高校)、青木美桜(伊勢崎商業高校)、酒井双葉(勢多農林高校)

▽団体賞(地産地消費)

伊勢崎興陽高校、吉井高校、伊勢崎商業高校

販売には長蛇の列ができる人気。学生が育て収穫した野菜を調理し提供する模擬店やカフェでも完売する店舗が多くみられました。また、会場内では、来場者参加型のもちつきや多彩な展示も行われました。

大盛況だった収穫感謝祭

第8回収穫感謝祭が11月10日・11日の両日、本校で開催され、来場者でにぎわいました。

毎年好評の農産物や花苗、加工品の

インターネット受験開始 和食アドバイザー検定3級

和食アドバイザー検定3級が1月からインターネットで受験できるようになりました。パソコン、スマートフォン、タブレットなど、ネット環境があるところならどこでも受験できます。メンテナンスの期間を除き、365日、

有機コラム②

スーパーで「有機JASマーク」を見つけて!

有機JASマークは、このような形をしています。



※色は緑色で、大きさは自由にできますが、このスタイル(形は、相似系で各寸法の比)は細かに決められています。

JAS:Japanese Agricultural Standard制度は、食品・農林水産品やこれらの取り扱い等の方法などについての規格(JAS)を国が制定するとともに、JASを満たすことを証するマーク(JASマーク)を、当該食品・農林水産品や事業者の広告などに表示できる制度です。

JASマークを商品購入の際の判断材料にしたり、JASを取引におけるアピールの手段にしたりなど、さまざまな場面でJASやJASマークが活用されています。

好きな時間に受験でき、自分のペースに合わせた受験が可能となりました。問題は、二者択一○×方式で30問出題のうち、20問できれば合格。公式テキストは在宅受験と同じ「和食の基本がわかる本」です。在宅受験は、本年度も前期6月(申し込みは4月~5月)、後期11月(同9月~10月)の2回実施します。

有機JASマークは、「太陽と雲と植物をイメージしたマーク」です。農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された食品を表しており、農産物、加工食品、飼料及び畜産物に付けられています。

有機食品のJAS規格に適合した生産が行われていることを登録認証機関が検査し、その結果、認証された事業者のみが有機JASマークを貼(は)ることができます。

この「有機JASマーク」がない農産物と農産物加工食品に、「有機」、「オーガニック」などの名称の表示や、これと紛らわしい表示を付すことは法律で禁止されています。(NPO法人 日本オーガニック認証協会:前橋市南町2-31-1)

学校法人 中央総合学園 専門学校

CID中央情報大学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

平成30年度
の実績紹介

難関資格に合格多数

中央情報大学校では、難関国家試験やベンダー資格に積極的に挑戦、多数の合格者を誕生させています。平成30年度の主な実績をまとめて紹介します。

【情報系】

金子さんが快挙

▶情報処理安全確保支援士試験

難関の国家資格「情報処理安全確保支援士試験」(10月21日実施)に、情報システム学科2年の金子貴天さん(沼田高校出身)が見事、合格を果たしました



金子さん

た。

同試験では、群馬県管内の専門学校でただ一人の合格となります。

同資格は、情報処理技術者試験の高度試験(レベル4)と同等の難易度であり、情報セキュリティ技術に関する高度な知識・技能を有することを経済産業省が認定する国家資格。合格率は17.7%と非常に難関な資格です。金子さんは株式会社東日本技術研究所に就職も内定、4月から社会人として新たな一歩を踏み出します。

▶Java Gold

Oracle Java Goldに高度情報システム学科2年の佐々木都吾さん(藤岡中央高校出身)が合格しました。この試験は情報系企業であるオラクル社が認



高資格合格を祝う会で喜びを分かちあう

定するベンダー資格で、世界的に利用されているオラクル社製品についての知識を証明する試験です。同試験は、設計者の意図を正しく理解して、独力で機能実装が行える中上級者向けレベルです。Goldを取得できると転職市場での評価が高く十分な経験者として採用されるほどの試験です。佐々木さんは4年制学科の2年生で数多くの資格を取得しています。「今後は高度情報技術者試験に向けて勉強を頑張る」と意気込みを話してくれました。

▶応用情報・基本情報技術者 応用情報は2人

応用情報技術者試験(平成30年10月

実施)で2人が合格しました。応用情報技術者試験は、技術から管理経営まで、幅広い知識と応用力が身につく、システム開発やIT基盤構築などの局面で、高いパフォーマンスを発揮できる人材として認定される、経済産業省が認定する国家資格です。

【応用情報技術者合格者】

久保 祥樹(高度情報システム学科2年、高崎工業高校出身)
織茂 俊亮(情報システム学科2年、高崎高校出身)

基本情報は22人

基本情報技術者試験では22人が合格、群馬県内専門学校の合格者占有率は64.7%と高い合格率となりました。

サイバーパトロール協力で群馬県警から表彰を受ける

「情報セキュリティ」 実践的に学ぶ

「サイバーパトロールに貢献」。本校学生たちが2月5日、群馬県警から表彰されました=写真。

本校は昨年6月に群馬県警から「サイバーパトロールコラボレイター」として委嘱され、インターネット上における有害情報・違法情報の通報や、広報啓発活動などを情報システム学科の学生を中心としたチームで、サイバーパトロールのボランティア活動を行ってきました。

表彰は、その活動に対してのもので、



学生チームを代表して、高度情報システム学科2年の佐々木都吾さんが賞状を受けました。

情報技術を使った社会貢献活動を通じて、情報モラルを実践的に学ぶことができるため、本校では、今後も継続してこの活動に参加していく予定です。

しました。

さまざまな問題を解くことで、セキュリティの知識と技術を磨くことができ、学生にとっては良い刺激となりました。

情報セキュリティ企業 LACを訪問、重要性学ぶ

情報セキュリティにおける日本最大企業である株式会社LACのJSOCセキュリティ監視センターを2月26日に見学しました。

同センターは、官公庁や大手企業を中心に900団体の監視を行っており、学生たちはセキュリティ監視の具体的な手法について実例等を交えた説明を受け、サイバー犯罪に対するセキュリティの重要性を痛感していました。

【電気通信系】

相澤さんが合格

▶工事担任者AI・DD総合種

通信設備工事におけるアナログ回線、デジタル回線すべてを取り扱うことができる最高峰の国家資格(総務省



相澤さん

所管)の工事担任者AI・DD総合種に相澤叶さん(電気通信学科1年 長野工業高校出身)が合格しました。また、インターネット接続工事を扱える同資格DD3種には3人が合格しました。

1年生3人が合格

▶第一種電気工事士

第一種電気工事士試験に、電気通信学科1年生3人が合格しました。同試験は、昨年10月7日に筆記、12月8日の実技、両試験での成績で合格が決まります。

第一種電気工事士は経済産業省が認

定する国家資格で、工場やビルなどの大容量電気設備を工事することができる資格です。

【第一種合格者】

石原 幹基(電気通信学科1年、桐生市立商業高校出身)
小倉 良介(同学科1年、前橋育英高校出身)
久野 幸也(同学科1年、高崎工業高校出身)

セキュリティコンテスト 参加し、情報技術を競う

群馬県警察本部サイバー犯罪対策課が主催するCTF(Capture The Flag)が、11月21日に行われ、高度情報システム学科の学生3人が参加しました。

このセキュリティコンテストは、情



コンテストに参加した学生チーム

報通信技術や知識を競うための対抗戦形式で行います。情報セキュリティを学ぶ群馬大学や前橋工科大学、群馬県警サイバー犯罪対策課のチームが出場

コンテスト入賞相次ぐ

「きものと帯」コンテスト 室橋さんが優秀賞

桐生織物協同組合主催「平成30年度着たい!着せたい!きものと帯コンテスト」で本校学生が、優秀賞を受賞しました。

▽優秀賞

室橋 優(デジタルデザイン学科1年、伊勢崎工業高校出身)

近代こけしコンクール 大久保さんが受賞

群馬県観光物産国際協会主催の第59回全群馬近代こけしコンクールで本校学生の作品「鬼瓦こけし」=写真=が受賞しました。

▽群馬県観光物産国際協会長賞

大久保 朋弥(同学科1年、藤岡中央高校出身)



ぐんまプログラミングアワード2019

ファイナルステージに 本校から2組が出場

プログラミング力を競う「ぐんまプログラミングアワード2019」のファイナルステージが3月23日、ベイシア文化ホールで開かれ、本校からアプリケーション部門1組、テクニカル部門1組の計2組が出場しました。

同アワードには、3部門（ジュニア、アプリケーション、テクニカル）に、約100組が応募。最終審査に3部門45組が進出。

アプリケーション部門では、未発表で独創的なアプリ作品が求められ、テクニカル部門では、プログラミング問題の正答数と回答スピードを競いました。最終審査出場メン



プログラミング問題の解答を競うテクニカル部門に挑戦した本校チーム

バーは次の通り。

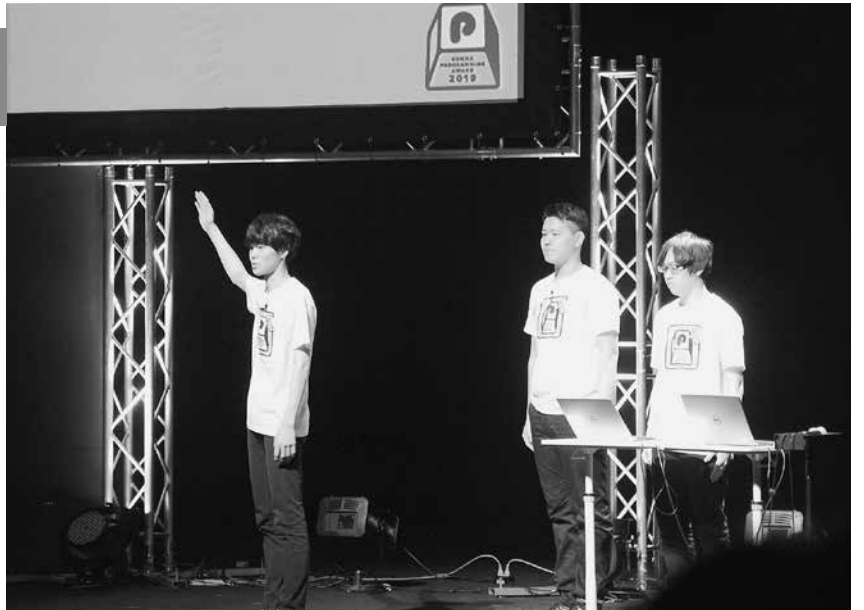
【アプリケーション部門】

▽人と人を繋げる

- 清水 亮 (渋川青翠高校出身)
- 高橋 祐仁 (桐生市立商業高校出身)
- 川島 朋宣 (学芸館高校出身)

【テクニカル部門】

- 佐々木都吾 (藤岡中央高校出身)
- 桑名 大樹 (高崎商科大学附属高校出身)
- 大麻 祐資 (クラーク高校前橋C出身)



アプリケーション部門ユースコース(小学生・大学生・専門学校生で、「人と人を繋げる」アプリを発表する本校チーム)

関電工人材育成センター研修

1年生が電気工事研修を受ける

電気通信学科1年生が、茨城県牛久市にある株式会社関電工の人材育成センターで、2泊3日の実践的な電気工事研修を行いました。



職員から指導を受ける学生たち

今回の研修では、座学では触ることがなかったバンドソーや油圧式パイプベンダなどの電動工具を手に、練習用の設備を使って現場と同じ手順での工事を学ぶことができました。

この研修を通して学生は電気工事の

現場に対する理解が深まり、今後の学習や就職活動にとって、よい経験を積むことができました。

1年生が菅平でゼミ研修 スキー・スノーボード楽しむ

高度ICTデザイン学科、情報システム学科の1年生を対象にしたスキー・スノーボード研修旅行が、菅平高原で2月28日に行われました。



スキー・スノーボードで交流する学生たち

スキーやスノーボードが初めての学生は、先生に基礎から指導を受け、一生懸命取り組んでいました。また、仲間同士の触れ合いを満喫する学生の姿も印象的な研修旅行となりました。

光ファイバを具体的に 接続技術の講習会開催 電気通信学科

電気通信学科1年生が12月17日・18日に、古河電気工業株式会社の協力で光接続技術講習を受講しました。

講習では、光ファイバの概要と基礎知識についての講義を受けた後、接続の実習へと進みました。実習では光ファイバ接続工事の方法、融着接続、加熱補強、可視光法による通光確認、光損失測定など、実際に現場で行われている方法を体験しながら学ぶことができました。

最後に理解度テストが行われ、全



光接続技術講習で修了証を受けた学生たち



光ファイバ融着接続の実習

員が無事合格し修了証を受けることができました。

この講習会は、通信工事分野の就職活動に大いに役立つものと期待されています。

日本語能力試験合格者相次ぐ N1にへム カラさん

国際ビジネス学科

本年度2回目の日本語能力試験(以下JLPT)が12月2日に行われ、延べ34人が合格しました。

合格者の中にはN1~N4までおり、本年度は7月の結果と合わせ昨年度の倍以上の48人の合格者を輩出することができました。

N1に合格したへム カラさん(ネ



パール出身)は「昨年度から受験していましたが合格することができて本当にうれしい。周りの支えてくださった先生や友人に感謝したい。これからは社会に出て学校で勉強したことを、生かして頑張っていきたい」と、喜びの声を聞かせてくれました。

個人戦で3位、4位に 全関東ボウリング大会

全関東ボウリング大会(主催・全国経理教育協会関東地方会)が東京都品川区にある品川プリンスホテルのボウリング場で2月25日に行われ、本校チームが活躍しました。

大会には、関東の5県(神奈川県、茨城県、千葉県、新潟県、群馬県)から7校8チームが参加、本校からは2チームが出場しました。特に今回の大会では留学生が初めてチームをつくり参加しました=写真。

団体戦、個人戦ともどのチームが優勝するか予想できない大接戦となり



ましたが、日本人学生、留学生ともに全力で戦うことができました。

大会の結果は団体戦で4位(日本人チーム)と6位(留学生チーム)に、個人戦では日本人の学生が第3位、留学生が第4位に入る健闘をみせました。来年は優勝を目指して練習に励んでいきたいと思ひます。

テロ対策訓練に参加 避難行動も体験

国際ビジネス学科の学生135人が、群馬県警高崎警察署と合同で10月25日に「国際テロ対策訓練」に参加し、実際に教室から避難行動を行いました。この訓練は、テロを想定して行われ、爆発物処理車も出動、機動隊員が不審物を処理しました。

教室から避難して、爆発物処理作業などを見学した学生からは「本当に起こったようで怖かった」「実際に起こった時には訓練を思い出して、慌てず、しっかりと避難をしたいと思ひます」



テロ対策訓練で避難する学生たち

などの感想が聞かれました。訓練後には警察の方より「日本で暮らしていくためのルール」の内容で講演も行われました。

学校法人 中央総合学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

高崎ビューティモード専門学校から今春、74人（通信制含む）が卒業していきました。夢に向かって新たな一歩を踏み出した卒業生2人にインタビューしました。

夢に向かって

卒業生
インタビュー

内定先：people
岡田 奈々さん
国際美容師学科
(前橋育英高校出身)



笑顔忘れず、前向きに

▽都内の有名サロン（people）に決まった要因は

自分が、このサロンに対してどれだけの愛を持ち合わせているかをきちんと伝えることだと思います。笑顔を忘れず、前向きな姿勢で挑みました。

▽本校での思い出

たくさんの楽しい思い出ができた素敵な2年間でした。社会人になるために必要な知識や自主的な努力を、身につけることができたことに本当に感謝しています。

▽先輩へ一言

「就職活動は早めの行動！」早めに動いて損はありません。興味があるならば、すぐ行動し、いろいろな刺激を受け、自分を高め、結果を出すための努力を怠らず、挑戦してください。夢や目標は逃げません。頑張ってください。応援しています。

内定先：株式会社コーセー
柳沢 麻友さん
国際ビューティ学科メイク
アップアーティストコース
(長野・小諸商業高校出身)



何事にも真面目に

▽大手化粧品メーカーに就職が決まった要因は

就職活動の成功は、自分がここ（コーセー）に入りたいという強い気持ちがあったことと、先生方の支えがあったからだと思います。

▽本校での思い出

実家は長野県で、高崎に一人暮らしをしていました。学校生活は、最初不安でしたが、クラスの仲間や、先生方と楽しく過ごせました。毎日の授業で

多くの知識を学べたことが一番自分を成長させてくれたと思います。

▽先輩へ一言

「真面目に何事にも挑戦してみることで、どんなことでも、真剣に取り組む、挑戦してみることが成功の秘けつです。」

ディプロマ試験

4部門で学習の成果を審査

国際ビューティ学科

国際ビューティ学科の2年間の技術の集大成となるディプロマ試験が、別館『TBM BEAUTY ANNEX』で2月26・27日にかけて行われ、エステ・メイク・ヘアセット・ネイルの4部門に分けて全てを審査しました。

ディプロマ試験では、審査実施を前に高橋紀幸学校長が激励あいさつ。その後、担当の先生から試験の注意事項が伝えられ、緊張が高まる中、試験が開始されました。

エステでは、クレンジング・洗顔・マッサージ・パックを、制限時間内に行うことが求められました。

エステで肌を整えた後は、メイク技術としてブライダルメイクをモデルに合わせて施術しました。

メイクを終えた後は、ブライダルヘアセットを行い、最後にネイルで指先を飾り、技術は全て終了となりました。学生たちの緊張が一気に解けた瞬間でした。ブライダルを想定

した一連の技術を行うことで、より実践的な試験となりました。

2日目はエステ・メイク・ネイルの特殊技術の試験となり、全身リンパマッサージ・デザインメイク・デザインスカルプチュアの特特殊技術の成果が審査されました。

学生たちの中には、審査の先生の視線に緊張し、手が震えている学生もいましたが、時間が経つにつれ、少しずつ緊張もほぐれ、これまで身に付けた技術を披露していました。

厳正な審査の結果、最優秀者にはゴールド、優秀者にはシルバーの各賞が決まり、賞状が3月6日の卒業式で手渡されました。



▲緊張感あふれるディプロマ審査風景

▲審査を終えた学生と教職員



メイクも慎重に



アイデアあふれるネイル作品も

オーストラリア海外研修 美容と文化を現地で学ぶ

本校では、国際的な視点を意識した美容技術を幅広く学んでいます。その一環としてオーストラリアのシドニーへ3月8日から3月13日の6日間、海外研修旅行を実施。現地で、シドニーの美容技術と文化について勉強してきました。

美容研修

美容研修ではTEFE（州立職業訓練専門学校）を訪問し、現地学生と実習授業に参加しました。

TEFE（州立職業訓練専門学校）とはオーストラリアに130校以上ある州立の職業訓練専門学校で、約50万人以上の学生が在籍しています。また、ヨーロッパをはじめ、アジアにも学校があり、グローバルな教育環境です。

コースもさまざまで、半年コースから4年コースまであります。4年コースは大学の学位と同様のレベルとなるBachelor（学士号）コースを開講していて、修了すれば、大学を卒業したのと同様の資格として認められるコースもあります。

本校の学生たちは最先端のメイク技術やヒーリングマッサージの授業を体



実技研修する学生たち



研修の成果はディプロマ取得

験しました。学生たちは言葉の壁を感じながらもTEFEの学生たちとコミュニケーションをとり海外の技術を学んでいました。

就職内定など誓う 成人の祝い開く

中央総合学園3校の伝統行事「成人の祝い」が1月9日、エテルナ高崎で行われ、厳粛な雰囲気の中、学生達が成人への決意を披露しました。

式典では、学園を代表し、中島慎太郎学園理事長が成人としての心構えや先人の言葉などについて、分かりやすく語り激励しました。

これを受け各校の代表学生が、人



成人者と教員

生の旅立ちに際して、決意も新たに誓いの言葉を述べました。

最後に「国家試験全員合格」「ディプロマ試験全員合格」「就職100%」の決意と願いを込めて、各校校長、学生代表者がダルマに目入れをしました。

卒業生の現在

12

今回、紹介する卒業生は、12期生の梅村彩さんです。

「東急プラザ表参道原宿 JILL STUART B&P」＝東京都渋谷区

梅村 彩さん（12期生） 日々やりがいを感じて

梅村さんは、国際ビューティ学科メイクコースを卒業し、現在では、若者に絶大な人気を誇るJILL STUARTでビューティアドバイザーとして活躍されています。

メイクの楽しさをお客様に伝えて感動されたことや、梅村さんを信頼して来店してくれるお客様が増えたことなど、仕事のやりがいを日々感じながら接客をしているそうです。



今後の夢については、「お客様だけでなく、先輩や後輩たちとの架け橋のような存在にもなりたい」と熱く語ってくれました。

梅村さんの今後のさらなるご活躍をお祈りしております。



観光地も訪ねる

シドニー文化

文化についても学んできました。1788年に英国船が上陸し、オーストラリアで最初の開拓地となった歴史あるロックスエリア、オペラハウスやニュー・サウス・ウェールズ州立美術館などがあるサーキュラー・キーエリアな

【学生の感想】 視野広がった

国際的な美容技術や知識、歴史ある建造物に触れ帰国した学生たちからは



シドニーのセンター街

どのほか、動物園や水族館などがあるエンターテインメントな街のダーリング・ハーバーエリア、シドニーの中心であるセンターエリアなどを訪問。歴史ある街並みや新しい街並み、また美術館などから文化や感性を磨きました。

さらに、食文化では港町ならではのシーフード料理なども堪能しました。

「もっと英語を勉強し、今後グローバルで活躍できる美容師になりたい」「いろんな国に行って視野を広げたい」などの感想が出ていました。

ヘアコンテストなど見学 1年生が国内研修旅行

本校1年生の国内研修旅行が、11月19・20日に行われました。この研修では、幕張メッセで開催中のアミノフューチャーズロード「デザインパワー」を見学するなど、東京・横浜を1泊2日で楽しみました。

「デザインパワー」の会場では、自分自身の表現力を試し、可能性にチャレンジする次代の美容師たちを応援するコンテストが実施されていました。美容学校生「学生部門」と25歳以下の美容師「U25部門」でのネクストデザイナーズ・カップコンテストです。

全国から参加した出場者は、日頃磨いた技術と感性を發揮し、カットを含むトータルビューティを競い合っていました。見学した本校学生たちは、目の前で繰り広げられる熱い戦いをライブで体験することができました。

学生たちは、館内を自由に見学し、技術の高さと会場の広さに時間を忘れ



国内研修に参加した1年生



若手美容師のコンテストも見学

ていました。同世代の出場者と現役で活躍する美容師の技術に感動、感性が刺激された学生たちは、モデルや作品を携帯で写真に収めていました。

研修では、東京都内、横浜市内を友達と一緒に見学するなど、コミュニケーションを深めていました。

1年生対象にフィールドワークが、3月11日から3月15日の5日間、行われました＝写真。

フィールドワークは、就職活動の一環として、企業・サロン訪問を行い、訪問時のマナーを学ぶとともに、職業についての疑問を解消する問題解決能力向上を目的に実施されています。

海外研修発表を含め11組のグループに分かれ、ブライダル・ヘアケア・ヘアカラー・流行のネイルなど、グループごとにテーマを決め調査・研究を行いました。

発表の中で、学生たちからは「訪問のマナーの難しさを知ることができた」「人に任せすぎないで、今後



企業やサロン訪問で学ぶ 1年生がフィールドワーク

は自分から積極的に行動したい」「さまざまな企業の話が聴けたので、今後の就職活動に生かしたい」など、今後につながる前向きな発言が多く聞かれました。

この授業を通じて学生たちは、教科書や授業では学べない体験をすることができたようです。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得
CHS 中央高等専修学校
 前橋:〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270

クラーク記念国際高等学校連携校
 前橋校 <http://chs-clark.jp>

CHUO
 中央カレッジグループ

第20回卒業式

「大志」を胸に
 32人が羽ばたく

誕生した校歌も初披露

中央高等専修学校前橋校（クラーク記念国際高等学校連携校前橋校）の第20回卒業式が3月2日、中央カレッジグループ本部館6階ホールで厳かに行われ、総合コース16人、CGアニメーションコース6人、ベーシックコース10人の、合わせて32人が希望を胸に巣立ちました。

本校の生徒は入学当初から在籍している生徒、途中から転入してきた生徒など、在籍状況はさまざまですが、それぞれの生徒が勉強や検定取得、各種行事に全力を尽くし、立派に卒業式を迎えることができました。

式典では、山本龍前橋市長をはじめ多くの来賓が列席する中、成績優秀者らの表彰に次いで、清水洋学院長から一人一人に卒業証書が手渡されまし

た。後輩を代表し、2年生の瓜生望真さん、渡辺裕美子さんが送辞を述べ、これを受けて卒業生代表の多賀谷友翔さん、大澤なほこさん、宮澤大樹さんが答辞に立ち、これまでの学校生活を振り返り、周囲の協力に感謝しながら、今後の夢などを熱く語りました。

卒業生は今後、それぞれの道に進んでいきますが、本校で学んだ経験を糧（かて）に、仲間を大切に、飛躍して行ってほしいと願っています。

今回の卒業式では創立20周年記念事業の一環として制作された中央高等専修学校校歌「大志胸に羽ばたく」が公の場で初めて披露され、卒業生の旅立ちに花を添えました。



卒業生代表答辞では、学校生活を振り返り、今後の夢を熱く語りました。

卒業生の進路

- 【大学】
 中央学院大学、聖学院大学、川村学園女子大学、IPUニュージーランド、放送大学
- 【短期大学】
 明和学園短期大学、育英短期大学
- 【専門学校】
 ○中央カレッジグループ校
 中央情報経理専門学校、中央農業大学校
- 他の専門学校
 群馬社会福祉専門学校、群馬動物専門学校、前橋医療福祉専門学校、前橋看護学校、高崎医療福祉カレッジ、高崎自動車整備大学校、高崎産業技術専門学校、高崎看護学校、太田医療技術専門学校、東放学園音響専門学校、船橋情報ビジネス専門学校
- 【就職】
 株式会社IRISAWA

卒業生の検定・資格合格実績

(平成28年4月～31年3月、
 延べ合格者110人)

- 【全国経理教育協会主催】
 ☆簿記能力検定 3級7人
 ☆電卓計算能力検定 1級1人、2級1人、3級1人
 ☆文書処理能力検定（ワープロ）1級3人、2級4人、3級3人
 ☆文書処理能力検定（表計算）1級1人、2級5人、3級3人
 ☆社会人常識マナー能力検定 3級3人
 ☆計算実務能力検定 2級2人、3級4人
- 【日本漢字能力検定協会主催】
 ☆漢字能力検定 準2級2人、3級4人、4級3人、5級5人、7級1人、8級1人
- 【日本ビジネスマナー検定協会主催】
 ☆ビジネスマナー検定 1級3人、2級4人、3級10人
- 【日本書写技能検定協会主催】
 ☆硬筆書写検定 4級13人
 ☆毛筆書写検定 4級9人
- 【日本英語検定協会主催】
 ☆実用英語技能検定 2級1人、3級2人、4級2人
- 【実用技能検定協会主催】
 ☆サービス接客検定 3級1人
 ☆秘書技能検定 3級1人
- 【色彩検定協会主催】
 ☆色彩検定 3級2人
- 【日本商工会議所主催】
 ☆日商簿記検定 3級2人
- 【日本語検定委員会主催】
 ☆日本語検定 3級1人、準3級1人、6級1人
- 【サーティファイ主催】
 ☆Illustratorクリエイター能力認定試験 スタンダード 2人

CGアニメーションコース

高崎で作品展開催

第5回CGアニメーションコース作品展が2月15日から18日の4日間、高崎シティギャラリー第3展示室で開催されました＝写真。

同展には、生徒の授業課題や作品展を意識した作品の展示はもちろん、県内の中学生から募集したはがきイラストコンテスト応募作品も同時に展示し、来場者に見てもらいました。

特に本年度の生徒作品は平面作品だけでなく、立体作品の展示やPCでの展示もあり、新しい展示の可能



性を見いだせるものとなりました。来場者からも好評で、生徒たちの今後の励みにもなりました。

他の同ギャラリー利用者も含め多くの来場者があり、普段制作している作品を一般の方に見てもらうよい機会となりました。生徒たちには、作品展を通じて、今後も独りよがりではない作品を生み出すためのヒントを得てほしいと思います。

模擬店や作品展示
 保護者へ作文披露

「感謝祭」にぎわう

お世話になった人たちに感謝の思いを伝える「感謝祭」が11月17日、前橋校敷地内で行われました＝写真。

感謝祭では生徒それぞれが書いた保護者への感謝作文の発表、生徒の学校生活がうかがえる年間行事の写真展示、CGアニメーションコースの作品展示のほか、各クラスやベーシックコース、保護者を含めての趣向を凝らし



た模擬店など内容の濃い催しになりました。

模擬店では提供する食べ物の決定から店の装飾、食材の買い出しや調理の準備、当日の運営など実行委員を中心に生徒主体で進め、バラエティに富んだメニューが感謝の気持ちを込めて保護者や来場者にふるまわれました。



英語村を訪れた前橋・桐生の生徒たち

前橋・桐生 合同で「英語村」研修

前橋校、桐生校2年生合同の英語研修が、2月6日に前橋英語村（EVM）で行われました。

両校の生徒たちは3班に分かれ、空港の入国審査や買い物、動物当てクイズなど多彩なシチュエーションをもとに英会話に挑戦しました。

最初は、緊張や英語が苦手ということであまり話せない生徒が多かったが、時間が経つにつれ、英語がよく理解できなくてもそれなりに頑張っており、自分を表現しようという様子も見られました。ファストフード店のシチュエーションでは、「フライドポテト」が英語圏では通じないことに皆衝撃を受けていました。

生徒たちにとっては、普段と異なる環境で、講師の先生たちの生きた英会話の勉強でしたが、丁寧な指導もあり、

研修を終えた後の感想では、英語が苦手な生徒が多い中、「楽しかった」「他校の生徒ともしっかり交流したいと思った」という声を多く聞くことができました。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

桐生: 〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-59-28 TEL.0277-53-8511(代) FAX.0277-53-8532

クラーク記念国際高等学校連携校
桐生校 <http://chs-clark.jp>

CHUO

中央カレッジグループ

31人が巣立ち

中央高等専修学校桐生校（クラーク記念国際高等学校連携校桐生校）の第11回卒業式が3月9日、桐生グランドホテルで行われ、総合コースと農業グリーンコースとベーシックコース合わせて31人が卒業しました。

式では検定・資格合格者の表彰、成績優秀者、3年間皆勤などの表彰に次

いで、日々の努力を積み重ねた成果の証である卒業証書が一人一人に清水洋学院長から手渡されました。

式辞に立った清水学院長は、平成最後の卒業生として頑張ってもらいたい、期待を込めエールを送りました。

来賓祝辞では、群馬県専修学校各種学校連合会の中島利郎顧問、中央情報

第11回卒業式



答辞を読む卒業生代表

経理専門学校・中央動物看護専門学校の櫻井清人学校長から卒業生へ祝いの言葉が送られ、後輩による送辞では代表の堀鈴奈さんが、お世話になった先輩方へ感謝の言葉を述べました。

卒業生代表による答辞は、須田修平さんと小玉梓さんが、本校に入学した経緯や学校生活の思い出、支えてくれた保護者や先生方への感謝を込めて読み上げ、参列者の涙を誘いました。

平成30年度卒業生検定合格実績（平成28年～30年）

【全国経理教育協会主催】

☆電卓計算能力検定

1級5人、2級9人、3級12人、4級11人

☆文書処理能力検定

ワープロ 2級1人、3級8人、4級7人

表計算 3級16人、4級9人

☆社会人常識マナー検定 3級6人

☆簿記能力検定 基礎会計 9人

【全国検定教育振興会主催】

☆ビジネスマナー検定 2級2人、3

級9人

【日本漢字能力検定協会主催】

☆漢字検定 3級3人、4級4人、5級10人、6級9人、7級12人、8級5人

【日本語検定委員会主催】

☆日本語検定 4級6人、準4級10人

【日本書写技能検定協会主催】

☆硬筆書写技能検定 4級10人

【和食アドバイザー検定協会主催】

☆ジュニア和食アドバイザー検定 1人

☆和食アドバイザー検定 3級13人

卒業生に聞く

今春も夢と希望を胸に、多くの仲間が本校から卒業しました。その中の、須田修平さんは、電卓検定1級取得など学業と検定において優秀な成績をおさめました。また、3年時には欠席もなく登校しました。今後は、中央情報大学校に進学し、夢であるゲームエンジニアを目指していきます。

夢はゲームエンジニア

須田 修平さん

(進路：中央情報大学校 情報システム学科ゲームエンジニア専攻)

○本校に入学したきっかけ

フリースクールの先生に紹介されたことがきっかけです。それまではまったく何も考えていなくて俺でも行ける学校があるんだ、と思いました。この高校入学をきっかけにもう一度頑張ってみようと思えました。しかし、中学1年生の時は最初に頑張りが過ぎてしまい行けなくなってしまったので、今回は同じ失敗をしないようにゆっくり頑張っていこうと思えました。

○入学して頑張ったこと

最初とはとにかく学校に行くこと、検定を頑張るということを目標にしていました。検定では電卓検定1級を取得できたことが、とても自信になりました。

○在学中の思い出

一番の思い出は3年生の時に行っ



た沖縄研修旅行です。飛行機に乗ることが生まれて初めてだったので不安でしたが、怖くなくて楽しかったです。また、

美ら海水族館はもともと魚が好きだったのでとても楽しめました。特にジンベエザメの大きさに圧倒されました。宿泊した部屋にゴキブリが出て、みんなで大騒ぎしたことなどたくさん思い出ができました。また沖縄に行ってみようと思えました。

○今後の目標

進学する中央情報大学校でも休まず頑張っていきたいです。そして、ゲームを作れるような知識を身に付け、将来に生かしていけたらと思います。

○後輩へ一言

小学校・中学校とほとんど登校できなかった私でも、3年間頑張れたので後輩の皆さんならきっと大丈夫だと思います。残りの学校生活頑張ってください。

収穫野菜で創作料理 第11回収穫祭にぎわう

第11回「収穫祭」が11月10日、桐生校で行われました。収穫祭は、年間を通して実施してきた農業体験で、収穫した野菜を使って各学年が創作料理を作り、来場者に味わってもらうほか、野菜販売や展示発表も行われます。

今年の各学年の料理は、3年生が「塩焼きそば」「イモンプラン」「変わりだね揚げ餃子」の3品、2年生は「お好み焼き」「おはぎ」の2品、1年生は「さつまいもカレー」「ポテマヨ」の2品を作りました。来場した卒業生からも「おいしい」といった言葉が多く出るほどの出来栄でした。

展示コーナーでは農業体験の様子、沖縄研修旅行、合同体育祭、東毛青少



模擬店で創作料理をふるまう生徒たち

年自然の家宿泊研修の写真などが飾られました。

この収穫祭では、多くの保護者が朝早くから来校し、会場準備から豚汁作り、野菜販売などをしていただきました。保護者同士でも交流ができ、とてもよい機会になったと思います。

来場者も、近所の方や卒業生など、年々増えています。今後も、このような行事を通して地域に根ざした学校づくりを行っていききたいと思います。

目標を持って 持久走に挑戦

恒例の持久走大会（マラソン大会）が、12月7日に桐生市民野球場で行われました＝写真。

本番までに、生徒たちは体育の時間を通して一生懸命練習し、一人一人が「去年より順位を上げる」「少しでもタイムを縮める」「最後まで歩かずに完走する」など目標を持って取り組んで



きました。

当日は天気も良く、保護者の応援もあり、生徒たちは今まで練習した成果を十分に発揮し、最後まで走り抜くことができました。

前橋・桐生の1年生 合同学習会で交流

1年生の「合同学習会」が11月27日、前橋校で行われました＝写真。

本年度から始まった初めての桐生・前橋合同授業とあって、最初は生徒たちも緊張気味でしたが、授業が始まると徐々に仲良くなりました。お互いに自己紹介をする姿や、二人組になって「絵を言葉でつたえる」ゲームを楽しそうにする姿が随所に見られました。

授業後の感想にも、「今日は楽しかった」「また合同授業をしたい」とい



う声がたくさん出ていました。

今後も、同じ中央高等専修学校の仲間として、互いに親睦を深めていきたいです。

CHUO Global Village CHUO Global Village

〒371-0125 群馬県前橋市嶺町1409-2 TEL.027-289-3125 FAX.027-289-9251

前橋英語村
www.cgv.jp

CHUO
中央カレッジグループ

CHUO Global Village

English Village Maebashiは4月から、CHUO Global Village（以下CGVと略す）という名前のもとで新しいスタートを切ることとなりました。“CHUO”には中央カレッジグループへの所属を明確にするねらいがあり、“Global”には、わたしたちの大切なビジョンが反映されています。

視野を多彩な世界に 村名変更、「CGV」へ

CGVについて少し説明したいと思います。まずはCGVが目指す英語教

育についてです。これからの時代に、ますます英語が使われるのは明らかで



施設内表記も「CGV」に変更された

すが、そこで必要とされる英語とは一体、どんな英語でしょうか。つい最近までは英語といえば英米人が母国語とする言語を指し、ノン・ネイティブは英米人と十分にコミュニケーションをはかることを目標にそれを学習してきました。もちろん、これからも英米人の使う英語が一つの標準であり続ける点には変わりはないでしょう。しかし、私たちはアングロ・サクソンの使用する英語を念頭に置きつつも、それに止まらず、英米以外の国・地域においても広く通用する英語とのふれあいを理想とします。

すなわち、CGVが目指す英語（＝Globish）の大きな特徴は、特定の国や地域、特定の民族集団の文化と深く関わりすぎない英語ということが出来ます。グローバル化された世界でこれから共通語として運用される英語は、世界のどこにあってもネイティブ、ノン・ネイティブを問わず円滑に意思の疎通ができるツールであり、海外旅行

のみならず、ビジネス、留学をはじめとするさまざまな状況において汎用性の高い英語である必要があります。それこそがCGVが目標とする英語なのです。

その意味では、CGVのインストラクターの出身国はカナダ、イタリア、ルーマニアと多岐にわたり、今述べたGlobishを学ぶには理想的な環境といえます。また、扱われるトピックスについても、従来の英米文化事情だけでなく、世界の多様な地域で食されるフード、世界各地のイベント・ライフスタイル・ファッション、複数の大陸に生息する動物、さらには一国だけでは解決できない自然環境・資源をめぐる課題など、地球市民がこれから共有すべき内容を楽しみアクティビティを通して提供できればと考えています。

読者の皆さんがCGVのプログラムに盛り込んだらよいと考えるアイデアなどがあれば、ぜひお聞かせください。よろしくお願いいたします。

ECCジュニア

5教室合同で クリスマス イベント



- ・上柴西教室
- ・南大通り教室
- ・上野台台天白教室
- ・持田3丁目教室
- ・緑町教室

ECCジュニア上柴西教室・南大通り教室・上野台台天白教室・持田3丁目教室・緑町教室の子どもたちと先生、保護者らが12月9日、合同で来村、利用していただきました。

今回は5教室合同のクリスマスイベントの一環。参加者は、幼稚園児と小学生合わせて36人と大人10人の総勢46人でした。

全員イミグレーションから始まり、その後は子どもと大人に分かれ、子どもはクラフト・ファストフード・トレジャーハント・ミュージックを、大人はホテル・トラベルインフォメーション・ファストフードを体験し

ました=写真。
大人の皆さんは、最初は少し緊張していたようでしたが、徐々に緊張がほぐれて、時間が経つにつれインストラクターと英語でコミュニケーションがとれていました。一方子どもたちは、あまり緊張せず取り組んでいた様子でした。

今回は特に、クリスマスイベントということで、子どもたちは、楽しみにしていたサンタさんとも会え、プレゼントをもらい、一緒に2ショット撮影。皆、とても喜んでいました。また来年もサンタに会いに来てください。

STAFF 紹介

久保アリス (KUBO ALICE)

(ルーマニア出身)

国際社会に英語の翼を

こんにちは。不思議な国のアリスではなく、ルーマニアから来たアリスです。

はじめて日本に来た時は、なかなか日本語がわからなくて大変でした。でも、英語という世界共通語を勉強していたので、生まれも文化も違う人たちとコミュニケーションをとることができました。そうしているうちに素敵な出会いがあり、日本人と結婚して日本に住んで10年以上になりました。でも、ここではあまり英語が通じないなと思っていました。

これからの国際社会に羽ばたく子



どもたちには、絶対に英語という翼をつけてあげたいという気持ちで皆と楽しくレッスンをしています。

中央外語学院では幼稚園児に、CHUO Global Village (CGV) では小中高と幅広い年齢の子どもたちに英語を使えるようになることの楽しさを少しでも伝えられたらと、一生懸命に頑張っています。

お会いした時には、とても嬉しいので、ぜひ声をかけてくださいね。

箱根の函嶺白百合学園小から来村 4・5年生42人が体験学習

神奈川県箱根町の函嶺白百合学園小学校の児童42人（4年生24人・5年生18人）と引率の先生6人が来村、体験学習を行いました＝写真。

子どもたちはまず、イントロダクションで当施設オリジナルの「パスポート」に自分の名前・生年月日などを記入した後、全員で「イミグレーション（入国審査）」のアクティビティからスタート。入国審査官に扮したインストラクターの前に、どこから来たか、何の目的で来たかなどを英語で話していました。

学習は2日間で、「クッキング」「ファストフード」「ホームステイ」「ショッピング」など8アクティビティを体験するものです。

お昼の「クッキング」では、リゾット作りに挑戦。料理の単語や会話も英語で伝えながら野菜をカットしたり、お米を炊いたりなど本格的でした。完成したリゾットをおいしく食べました。「ファストフード」ではハンバーガーの注文の仕方を練習した後、お昼のサンドイッチなどを実際に注文して楽しいランチタイムになりました。

「ホームステイ」ではホストファミリー宅での自己紹介や生活用品を使った英会話を体験。「ミュージック」は『You Are My Sunshine』と『My Neighbor Totoro（となりのトトロ）』を英語で歌い、「ポスト オフィス」では英語村オリジナルポストカードにご家族やお友達に宛てて英語のメッセージを書きました。

「サイエンス」では、マグマの実験に挑戦。身近な道具で手作りしたミニ火山に化学反応で噴火を起こします。安全メガネを着けて本格的な実験を英語で行いました。噴火の反応に大興奮でした。「ショッピング」では、お店で欲しい物を伝えたり、サイズ変更したり、日常の買い物のシーンで使う言葉で英会話を楽しみながら買い物体験ができました。

4年生のみの体験として「アニマル」と「スポーツ」、5年生は「ビューティ」と「ジャパニーズ カルチャー」も行いました。

「アニマル」は、ぬいぐるみの動物たちと触れ合いながら、動物の特徴を英語で表現できました。「スポーツ」はボウリングで応援の掛け声や倒れたピンを数える英語が飛び交い、たいへん盛り上がりました。「ビューティ」では、形や色を英語で表現しながらネイルの体験ができました。

「ジャパニーズ カルチャー」では、『日本の文化、日本の有名な場所や食べ物について、外国の方に紹介しよう』を目的に、ペアごとに学校で練習した英語プレゼンテーションの成果をインストラクターの前で発表しました。

あっという間の2日間のアクティビティでしたが、函嶺白百合学園小学校4年生・5年生の皆さんは、それぞれを体験するたびに緊張もほぐれ、インストラクターと親しくなり、英会話を楽しみました。箱根からの来村、本当にありがとうございました。



1・2年生が団体利用 高崎商科大学附属高校

高崎商科大学附属高校の1・2年生、総勢53人が12月12日と13日、「STAY PROGRAMS」として団体利用していただきました＝写真。

1日目はイミグレーションから始まり、ファストフード、ホテルなどのシチュエーション英会話を体験。お昼は英語でクッキング。今回のクッキングは、イタリア人インストラクターが教える本格リゾット。英語を勉強しながら美味しくできあがりました。午後は日本文化を英語で伝える「ジャパニーズ カルチャー」、施設内を探索して写真を撮り、自分のSNSに外国人がよく使うハッシュタグやワードを使いながらツイットをする「SNS」のプログラムを行いました。

2日目は、シチュエーション英会話から開始。「ホテル」では宿泊先でトラブルの際に必要な会話や「クリニック」では自分が体調の悪い時に先生に対しての症状の伝え方など、外国に行った際に役に立つ英会話を学びまし



た。午後は「世界の昼食と制服」について外国人インストラクターとディスカッション。グループごとにテーマについてまとめ、ポスター制作。最後にインストラクターの前でプレゼンテーションしました。発表は全て英語でしたが、暗記できているグループや質疑応答に英語でスムーズに対応するグループなどさまざまな発表がありました。

Valentine's Day Event

親子37人が参加

CGVの特別イベント「Valentine's Day Event」が、2月3日に行われ、総勢37人の親子が参加しました。

催しでは、「チョコレートクッキー



作り」から始まり、「バレンタインカード作り」に挑戦、できあがったカードをお母さんやお友達に英語で気持ちを伝えながら渡す、「英語でバレンタインカード交換」が行われました＝写真。

2時間ほどの短い時間でしたが、楽しみながら英語も勉強できるイベントとなりました。



CGV インストラクター
Alessandro Martoriati

「When in Rome do as the Romans do」

「ローマにいる時はローマ人のするようにしろ」ことわざというよりも、役に立つアドバイスと思っています。「自分の住んでいるところと異なる地域や社会へ行った場合は、その地域や社会の習慣やしきたりに従え」という意味です。しかも私が生まれた歴史の古いローマについての話ですから意味がよくわかります。

Mayor's Message

Makoto Shimotao

Hello, everyone. My name is Makoto Shimotao. I've been requested to give some 'general' comments on your presentations. In doing so, first I'd like to review how you've handled your subjects. Then I'd like to give a piece of advice on how you can modulate your speech to make it more effective.

It is safe to say that we can roughly divide the subjects introduced today into two types: those based on personal experiences and those dealing with social issues.

I've found the presentations belonging to the former category to be persuasive and informative because they are based on things that actually happened in life. Speakers dealing with topics of this genre can take a flexible approach to arranging paragraphs. Many of you have successfully brought about a dramatic effect on your speeches by 'having a good hook' with a story, joke or surprising fact while stating the purposes of your presentations at the beginning.

Some speakers today have covered social

Acting as a judge for the Shibazaki Trophy

issues such as dementia, AI and monster children. In dealing with such topics, first and foremost, you need to clarify your stance on the subject you have chosen. It is also crucial to support your opinion with reliable sources. Most of the speakers representing this group have provided telling examples backed by the latest data to assist their causal explanations. Well done, everyone.

When you attempt to make an effective oral presentation, it is necessary to modulate your speech depending on your needs. Unless you do so, your address often tends to be monotonous however well-composed it is. To avoid that and to make your speech well-focused, I strongly advise you use the following techniques: stressing, stretching and pausing.

Let me give you an example. Here's a model sentence: He has a lot of experience in sales. How do you emphasize 「豊かさ」 in this sentence? There are three possible ways. You can put stress on the word 'lot' or stretch the same word. Another way is that you can pause



英語弁論大会の表彰式後
入賞者とともに

a little after saying 'He has.' Your speech will be all the more clear-cut if you put stress on 'lot' that comes after the pause. I hope you will make effective use of these techniques to convey your message to the audience.

Today I am fortunate to be part of this time-honored oratorical contest. I am very impressed by your dedication to your tasks. I am sure every audience member in this hall has been satisfied with your verbal performances because all of them were so informative and thought-provoking. I wish you all the best of luck. Keep up the good work! Thank you.

.....

CGVの下田尾誠村長が2018年11月、第29回柴崎杯英語弁論大会（群馬県立女子大ESS主催）で審査員・コメンテーターを務めた際に行った総評です。どんなコメントの内容でしょうか。

Super Kids English Studio 中央外語学院

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町17番地36 中央総研ビル1F TEL.027-256-7200 FAX.027-256-7201

www.chuo-gaigo.com

CHUO

中央カレッジグループ

こどもスピーチフェスティバル 英会話レッスンの成果披露 園児や小学生、保護者ら250人

英会話の楽しさを共有。5回目となる「こどもスピーチフェスティバル2019」が2月23日、群馬県社会福祉総合センター8階大ホールで開かれ、県内の幼稚園児や小学生、保護者ら過去最高の約250人が集いました。

グループに分かれ自身を表現

スピーチフェスティバルは、英会話の競い合いではなく、参加者らが楽しんで英会話をするを目的に実施しています。本学院が提供する英語プログラムの園児、児童たちによる日ごろの楽しい英会話レッスンの成果を来場者に披露しました。

当日は本学院の17人の講師もスピーチフェスティバルに参加。オープニングソングは全員で合唱し、その後、同じ年代の5～10人のグループに分かれ、小学生グループの成果発表を皮切りに、幼児・年中児・小学生が魅力あふれるステージショーを披露しまし

た。子どもたちは「想い」を英語で表現しながら、楽しい時間を過ごしました。観客席からは盛んな拍手が送られ例年以上の盛り上がりを見せました。

会場全体で「楽しさ・喜び共有」

主催した本学院の担当者は「おかげさまで過去最高の250人の参加をいただきました。企画側はもちろん、児童や保護者ら全員が楽しさや喜びを共有することがスピーチフェスティバルの最大の目的。大成功でした」との声が出ていました。

中央外語学院は、県内35の幼稚園で英語のプログラムを提供。体と脳を同時に働かせながら英語を覚える教授法



が特徴の一つで、まずは「楽しみながら」がモットーです。

今後も本学院では、時代を担う国際人を育てることを目標に、幅広い年齢層に対応できる最適な外国語の学習環境を提供していきます。



楽しく行われたスピーチフェスティバルと参加者一同

ムービーナイトで台詞を練習 英語版モノポリーで楽しく英会話

「サロン会話コース」を充実

好きな時間に英会話を楽しんでもらう「サロン会話コース」を充実させようと、本学院で特別企画「ムービーナイト」(2018年12月14日)と「モノポリーナイト」(2019年2月1日)を開催しました。

「ムービーナイト」は、アメリカのホームドラマを参加者と本学院の外国人講師たちが一緒に鑑賞しました。登

場人物のセリフをパートに分かれて練習するなど、日ごろの会話で使われる生の英語を実践感覚で話す機会につながりました。

「モノポリーナイト」は、ボードゲーム「モノポリー」を英語版で楽しむというもので、遊び感覚の中で英語力が身につくことが最大の魅力です。

「サロン会話コース」は、毎週月曜日と水曜日、金曜日の午後6時から同8時30分に開いています。特別企画は今のところ、2カ月に1回のペースで実施しています。

資格の学校 TAC 群馬校

お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC

〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

平成30年度試験 合格者相次ぐ 税理士試験で2年連続5科目合格

平成30年度の試験結果が出そろう、多くの受講生から喜びの報告が届いています。税理士試験では、2年連続で群馬校から5科目合格者を輩出、科目合格者も簿記論、法人税、固定資産税と合格者が出ました。また、社会保険労務士試験では6.3%の合格率ながら4人が合格し、行政書士試験では12.7%の合格率で2人が合格しました。

公務員試験では国家公務員、県庁、市役所と多くの受講生が最終合格を勝ち取りました。

【平成30年度合格者数】

(数字は人数、2月20日現在)

- 税理士 1
〈科目合格〉
簿記論2、法人税法1
固定資産税1
- 社会保険労務士 4
- 行政書士 2
- 公務員試験
国家総合職1、国家一般職3

- 労働基準監督官1
- 国立大学法人等3
- 特別区I類2
- 群馬県(行政)2、同(学校事務)1
- 北海道(技術)1
- 前橋市3、高崎市1、安中市1
- 東吾妻町1、東松山市1
- 福島県富岡町1、群馬県国保連1

合格者コメント

Y・Kさん(高崎市・27歳)

▽高崎市・前橋市合格

〈これから受験する人へ〉

私は、働きながら1年間勉強をしました。効率よく勉強をすることを心掛け、メリハリをつけて、隙間時間を活用しながら表面的な勉強時間のみにとらわれることなく、密度を重視して勉強しました。働きながらですと、なかなかフレッシュの時間などが取りにくいとは思いますが、TACでの学習でスタッフの方と話をしながらモチベーションを上げることで集中的に取り組む

ことができました。TACでは幅広い年代の方が大勢勉強していて刺激にもなりました。勉強内容や試験対策は、TACのカリキュラム通りやっていると、心配する必要はありません。あとは自分自身がどれだけ目標に向かってコツコツ取り組めるかにかかっています。

仕事と勉強の両立は簡単ではありませんが、できないことはありません。しかし、努力したらそれだけ結果がついてくるのが、公務員試験です。合格に向けて頑張ってください。



E・Hさん(本庄市・22歳)

▽群馬県合格

〈これから受験する人へ〉

公務員試験は情報戦です。受講生の友人と情報交換をしながら勉強を進めていきました。また、面接対策では復元シートや模擬面接なども活用して、情報をたくさん得るように努力したのが結果に結びついたと思っています。

TACの公務員試験に向けた環境は、本当に素晴らしいと思います。皆さんも不安は大きいと思いますが、この環境を最大限に生かして頑張ってください。

資格・検定紹介

「ビジネスマネジャー検定試験」

●検定試験概要

試験日：7月と11月の年2回(マークシート方式による選択問題)

あらゆる企業の管理職(マネジャー)に共通して必要とされるマネジメントの基礎知識を身に付けることができる試験。それが「ビジネスマネジャー検定試験」です。

〈学習メリット〉

- ・総合的なマネジメント知識を身に付けることで、管理職としての不安や戸惑いを軽減でき、上司・部下からの厚い信頼を得ることも可能となります。
- ・習得した知識は昇進・転職・キャリアアップの武器として役立ちます。
- ・出題される経営・労務の知識は、他の資格・検定試験と重複・関連する科目も多く、学習後に中小企業診断士や社会保険労務士、ビジネス実務法務検定試験、簿記検定などへのステップアップを目指せます。

お得な講座キャンペーン情報

公務員 春割キャンペーン

対象：2020年合格目標 総合本科生 他
期間：6月30日まで

内容：通学メディア受講料が最大2万円OFF!